名古屋市博物館

年　　報

平成 30 年度

*No.*42

名古屋市博物館

はじめに

名古屋市博物館は中部地方を代表する歴史系の総合博物館として、尾張の歴史・文化に関わる資料の収集保存、調査研究を行い、また、国内外の優れた文化財を紹介する展覧会を開催し、地域の歴史・文化を見つめ直す機会を提供しています。本書は、当館が平成 30 年度に実施した事業の概要を報告するものです。

資料の収集、調査研究活動としては、256 件、1,010 点の資料を収集し、秀吉研究の推進では、『豊臣秀吉文書集』第 5 巻を発刊しました。また、「よみがえれ文化財」事業では、「足立喜六資料」のガラス乾板について、保存処理・デジタル化などを行いました。

展覧会では、企画展 1 本、共催展 4 本を開催いたしました。博物館が取り組む調査・研究・出版・展示などを 22 のテーマで紹介した「博物館イキ！」、古代から現代までの海との関わりの歴史に、考古学、民俗学からスポットをあてた「海たび」、先史時代からインカ帝国滅亡までの 15,000 年の間に南アメリカ大陸で盛衰した文化を紹介する「古代アンデス文明展」、名古屋に生まれ、江戸時代中頃に活躍した月僊の画業や社会福祉に取り組んだ人となりを紹介する「画僧 月僊」、幕末の浮世絵界を活性化させた歌川国芳や明治に和洋を融合した画風で人気を博した月岡芳年らを紹介する「挑む浮世絵　国芳から芳年へ」を開催しました。

常設展では、『豊臣秀吉文書集』の成果と関連する「秀吉と鷹狩り」や、「画僧 月僊」と関連する「尾張・三河の画僧」などの展示を行いました。

これらに加え、まが玉づくりや少し昔のおもちゃでの遊びを体験できる「歴史体験セミナー」、学芸員の研究成果やタイムリーな話題をお伝えする「はくぶつかん講座」、小学校の授業にあわせた「くらしのうつりかわり」、市民の皆様とともに開催した「はくぶつかんのなつまつり」などを行いました。

分館の名古屋市蓬左文庫では、「明治 150 年記念 華ひらく皇室文化」など、3 本の特別展と 6 本の企画展を開催し、学芸員らによる蓬左文庫講座を実施しました。また、名古屋叢書四編の第 1 巻として、江戸時代後期から明治初年にかけての名古屋城下の事件や対外関係などを記録した『青窓紀聞　巻二～五』を刊行しました。

名古屋市秀吉清正記念館では、1 本の特別陳列、2 本の特集展示と 3 本のパネル展示を開催しました。特別陳列「秀吉清正記念館名品展」では、50 年に及ぶ記念館の博物館活動を紹介するとともに、記念館が誇る選りすぐりの名品を一堂に公開いたしました。

名古屋市博物館はこれからも、地域の歴史・文化を紹介するとともに、楽しく親しみやすい博物館をめざし、職員一同努めて参ります。皆様のご助力をいただきますよう、お願い申し上げます。

令和元年 6 月

名古屋市博物館

目　次

はじめに

事業概要
Ⅰ 展　示 ---------- 3
1 常設展　2 企画展　3 共催展　4 イキイキ博物館
Ⅱ 教育・普及 ---------- 10
1 広報　2 団体観覧　3 教育活動　4 刊行物　5 友の会
6 共催の教育・普及事業　7 大学パートナーシップ
Ⅲ 資　料 ---------- 13
1 調査　2 収集　3 特別利用　4 資料の貸出

収集資料目録
Ⅰ 受贈資料一覧 ---------- 19
Ⅱ 購入資料一覧 ---------- 23
Ⅲ 指定・認定文化財一覧（館蔵資料） ---------- 23
Ⅳ 指定・認定文化財一覧（受託資料） ---------- 24

分　館
Ⅰ 名古屋市蓬左文庫 ---------- 26
1 閲覧　2 展示　3 蓬左文庫講座　4 催事等　5 団体見学
6 出版物　7 特別利用　8 複写　9 資料点数　10 資料の貸出
11 指定文化財一覧（所蔵資料）

Ⅱ 名古屋市秀吉清正記念館 ---------- 30
1 展示　2 教育普及　3 特別利用　4 資料の貸出
5 資料収集状況　6 指定文化財一覧（館蔵資料）

機　構 ---------- 32
名古屋市博物館協議会開催状況 ---------- 34
予　算 ---------- 34
名古屋市博物館利用状況 ---------- 35
1 企画展・共催展　2 常設展　3 月別入場者数
4 ギャラリー・講堂利用日数　5 年度別入場者数
出版物案内 ---------- 39

事　業　概　要

Ⅰ　展　　示

1　常　設　展

常設展では旧石器時代から現代までの尾張の歴史を 16 のテーマに分け、約 1,000 点の実物・複製資料により紹介している。愛知県と連携して作成した三河など周辺地域にも関連する複製資料も展示し、より広い視点で尾張の歴史を紹介している。

長期間展示できない資料や新収品などはフリールームやテーマ 10 で、小テーマを設定して展示している。本年度は、「秀吉と鷹狩り」「伊勢湾台風」「尾張・三河の画僧」などを開催した。

この他、「話題のコーナー」として、タイムリーな話題提供を試みている。10 月 6 日から開催の特別展「古代アンデス文明展」にあわせ、当館所蔵のインカ裂を紹介する「布から眺める　古代アンデス」を 10 月 10 日から 12 月 2 日まで開催した。

展示解説としては、説明キャプション、写真パネル、コンピュータ画面（しらべる君）による情報の提供、ボランティアによる「展示ガイド」などを行っている。

観 覧 料　一　般　300 円　　高大生　200 円
　　小中生　無料
観覧者数　58,372 人

(1)　フリールームの展示替

「尾張の幕末維新」

会　　期　3 月 28 日～5 月 20 日
展示意図　　幕末の尾張藩の中心人物であった徳川慶勝と勤王の藩士の活躍を書画や書状などで紹介。
展示件数　26 件 26 点

「秀吉と鷹狩り」

会　　期　5 月 23 日～6 月 24 日
展示意図　　武家の嗜みとして広く行われていた鷹狩りについて、豊臣秀吉にとってはどのような意味をもっていたかを、天正 19 年の「大鷹野」を中心に紹介。
展示件数　19 件 20 点

「陸軍名古屋特別大演習」

会　　期　6 月 27 日～8 月 26 日
展示意図　　名古屋とその周辺地域において、大正天皇統監のもとで行われた陸軍特別大演習を、迎え入れる立場であった当時の名古屋市議会関係者の遺した資料により紹介。
展示件数　4 件 35 点

「伊勢湾台風」

会　　期　8 月 29 日～10 月 21 日
展示意図　　伊勢湾台風から 59 年という歳月の経過を鑑みて、災害の経験を後世に伝えていくために当館が取り組んでいる一次資料の収集と研究の成果を速報的に紹介。
展示件数　14 件 101 点

「尾張の円筒埴輪」

会　　期　10 月 24 日～12 月 24 日
展示意図　　尾張では、古墳時代後期になると須恵器の技術を応用した独特の円筒埴輪「猿投型円筒埴輪」（尾張型埴輪）が創出された。その登場と前後の時代の円筒埴輪の特徴を、代表的な名古屋市内の古墳出土資料を通して紹介。
展示件数　14 件 27 点

「くらしのうつりかわり」

会　　期　12 月 26 日～平成 31 年 3 月 24 日
展示意図　　小学 3 年生の社会科学習内容にあわせて実施。炭火のこたつ、湯たんぽや下駄など、100 年あまりの間に使われた道具を展示して、くらしがうつりかわる様子を紹介。
展示件数　116 件 177 点

「昭和天皇の即位御大典」

会　　期　3 月 27 日～令和元年 5 月 12 日

展示意図　　昭和天皇の即位儀式等の様子や、名古屋市(往復路いずれも名古屋離宮に宿泊)での奉祝事業等の様子を紹介。

展示件数　35 件 184 点

(2) 近世尾張の文化（テーマ 10）の展示替

「白隠の書画」

会　　期　3 月 28 日～4 月 22 日

展示意図　　禅の教えを親しみやすく説いた白隠慧鶴の絵画や書を、新収資料を中心に紹介。

展示件数　5 件 5 点

「短刀と脇指」

会　　期　4 月 25 日～6 月 24 日

展示意図　　江戸時代に武士に限らず成人男子が携帯した短刀・脇指を、外装とともに高級紳士小物として紹介。

展示件数　8 件 15 点

「嵐絞り」

会　　期　6 月 27 日～7 月 22 日

展示意図　　伝統的工芸品にもなっている有松・鳴海絞りの中から、嵐絞りという技法とその歴史について紹介。第 11 回国際絞り会議に合わせて企画した。

展示件数　6 件 6 点

「寛永行幸図屏風」

会　　期　7 月 25 日～8 月 26 日

展示意図　　寛永 3 年（1626）の後水尾天皇による二条城行幸を描いた、元禄年間制作の絵巻（現状は屏風に貼付）を紹介。平成 29 年度新収蔵品。

展示件数　1 件 2 点

「洛中洛外図屏風」

会　　期　8 月 29 日～9 月 24 日

展示意図　　豊臣期の伏見城を描いた、江戸時代初期制作とみられる作例を紹介。

展示件数　1 件 1 点

「宮本陣南部家の書画」

会　　期　9 月 26 日～12 月 2 日

展示意図　　宮宿（熱田）にあった二軒の本陣のひとつである南部家（赤本陣）に伝来した書画を紹介。

展示件数　12 件 17 点

「尾張・三河の画僧」

会　　期　12 月 11 日～平成 31 年 1 月 20 日

展示意図　　江戸時代、尾張や三河地域で活動した画僧（絵を描く僧侶）たちの作品を紹介。

展示件数　10 件 10 点

「フィールドガイド 江戸時代の鳥」

会　　期　平成 31 年 1 月 23 日～3 月 24 日

展示意図　　江戸時代の産物帳や名所図会などから、当時の鳥の様子を紹介。

展示件数　8 件 15 点

「舞楽」

会　　期　3 月 27 日～令和元年 5 月 26 日

展示意図　　舞楽を題材にした作品と、江戸時代の尾張で行われていた舞楽の様子を伝える史料を紹介。

展示件数　8 件 8 点

(3) まつり（テーマ 16）の展示替

「東照宮祭礼巡行図」

会　　期　3 月 28 日～4 月 22 日

展示意図　　名古屋東照宮で 4 月 17 日を中心に行われる東照宮祭では、戦前までからくり人形が乗った 9 輌の山車が曳き出されていた。その巡行を描いた刷り物から活気あふれる祭礼の様子を紹介。

展示件数　1 件 10 点

「東区筒井町神皇車のからくり人形」

会　　期　4 月 25 日～6 月 24 日

展示意図　6月第一土日に行われている筒井町天王祭（東区）の山車、神皇車のからくり人形を紹介。
展示件数　4件4点

「西枇杷島東六軒町泰享車の大幕」
会　　期　6月27日～8月26日
展示意図　6月第一土日に行われている尾張西枇杷島まつり(清須市)の山車、泰享車を装飾する幕を紹介。
展示件数　1件2点（会期前後半で展示替え）

「南区星崎二丁目の傘鉾と大人形の胴体」
会　　期　8月29日～11月25日
展示意図　平成29年度に南区星崎二丁目公民会より受贈した祭礼用具のうち、南区喚続神社の祭礼で用いられた傘鉾と大人形（胴体のみ）を紹介。
展示件数　1件2点

「正月の飾り」
会　　期　11月28日～平成31年1月20日
展示意図　名古屋市内で製作された注連縄、奥三河で製作された正月の飾りなど、愛知県内の正月の飾りを展示。また正月に食べる雑煮を食品サンプルと写真パネルで紹介した。
展示件数　5件24点

「郷土玩具とまつり　岐阜・三重・静岡」
会　　期　平成31年1月23日～4月21日
展示意図　観光や土産物という側面に注目して、岐阜・三重・静岡県のまつりに関係する郷土玩具を紹介。
展示件数　17件31点

(4)　話題のコーナー
「布から眺めるアンデス」
会　　期　10月10日～12月2日
展示意図　特別展「古代アンデス文明」開催にあわせ、館蔵のアンデスの染織品を紹介。
展示件数　20件21点

(5)　博物館ボランティアの活動
74人（平成31年3月31日現在）がボランティア登録している。
《活動状況》
・休館日を除く毎日、午前10時から午後4時まで活動、毎日2人
・午前11時・午後2時からの定時ガイドのほか、随時ガイドを実施
　定時ガイド実施人数　延514人
　随時ガイド実施人数　延6,793人
・はくぶつかんのなつまつりの運営
　8月4日・8月5日　32人
・くらし体験学習室の運営補助
　平成30年1月8日～3月3日　延88人
・歴史体験セミナーの運営補助
　「自分だけのまが玉づくり」
　8月25日・26日　延20人
　「おいしく作ろう　おこしもん」
　平成31年2月23日　11人
・定例総会　4月14日　1回
・定例会　12月8日　1回
・勉強会の実施　3回
・見学会の実施　3回

2　企　画　展
企画展「博物館イキ！」
会　　期　4月28日～6月10日（開室日数37日）
会　　場　特別展示室
主　　催　名古屋市博物館
観 覧 料　一　般　300円　　高大生　200円
　小中生　無料
観覧者数　4,752人
展示意図　博物館のコレクションは、集めるだけでなく、調べ、活かすことで、この地域の歴史や文化を伝える大切な源となっている。「博物館行き」という古びて使われなくなった物ではなく、

活き活きと活躍する資料を、博物館が取り組んでいる 22 のテーマを通して紹介した。

展示件数　149 件

印 刷 物　図録 A4 判　ポスターB1・B3 判　チラシ A4 判　出品リスト A3 判二ツ折　観覧券

関連事業

ギャラリートーク　計 270 人

4 月 28 日　山本祐子（調査研究員）　10 人
4 月 29 日　瀬川貴文（学芸課長）　10 人
4 月 30 日　津田卓子（学芸員）　30 人
5 月　4 日　鈴木雅（学芸員）　20 人
5 月　5 日　佐野尚子（学芸員）　25 人
5 月　6 日　竹内弘明（調査研究員）　15 人
5 月 12 日　加藤和俊（学芸員）　20 人
5 月 13 日　川合剛（調査研究員）　20 人
5 月 19 日　岡村弘子（学芸員）　15 人
5 月 20 日　桐原千文（調査研究員）　15 人
5 月 26 日　山田伸彦（主査）　20 人
5 月 27 日　長谷川洋一（学芸員）　15 人
6 月　2 日　星子桃子（学芸員）　10 人
6 月　3 日　藤井康隆（学芸員）　20 人
6 月　9 日　武藤真（学芸係長）　10 人
6 月 10 日　横尾拓真（学芸員）　15 人

展示説明会

5 月　3 日　「博物館行きから活きへ」
瀬川貴文（学芸課長）　50 人

フェスタ名市博 2018～春～

4 月 28 日・29 日
企画・実施　名古屋市立大学 博物館サポーターMARO
28 日 132 人、29 日 106 人　計 238 人

3 共 催 展

(1) 特別展「海たび」

会　　期　7 月 14 日～9 月 17 日
（開室日数 56 日）

会　　場　特別展示室・部門展示室

主　　催　名古屋市博物館　毎日新聞社
名古屋テレビ放送

観 覧 料　一　般　800 円　　高大生　600 円
小中生以下　無料

観覧者数　11,059 人

展示意図　現在の尾張・知多地方では、古代氏族「尾張氏」の海民伝承、宮の渡し、現在も盛んな漁業など、古代以来一貫して、海に育まれた歴史文化の地域色がある。本展覧会では「行ってみたくなる海の歴史散歩」をコンセプトに、考古学と民俗学の両分野から学際的に知多半島と島嶼部から名古屋周辺まで広がる尾張・知多の海の歴史文化の特徴を追究。

展示件数　289 件

印 刷 物　図録 A4 判　海たびパンフレット A4 判 8 頁　ポスターB1･B2･B3 判　チラシ A3 判二ツ折　子どもチラシ A4 判　観覧券　招待状　広報用しおり

関連事業

記念講演会

7 月 14 日「尾張・知多をめぐる海の文化」野地恒有氏（愛知教育大学教授）
181 人

ミュージアム・トーク

8 月　4 日「幻の名物「藻魚（モウオ）を追え」長谷川洋一（学芸員）　30 人
8 月 11 日「海を渡りゆくひとびと」藤井康隆(学芸員)　41 人
9 月　1 日「沿岸部の信仰･怪異」長谷川洋一(学芸員)　28 人

こどもワークショップ　海たび展探検ツアー

7 月 22 日（日）①午前・②午後
8 月 13 日（月）③午前・④午後
8 月 29 日（水）⑤午前・⑥午後
①④⑤「古代の海の王とひとびと」藤井康隆(学芸員)
②③⑥「海の特産品ができるまで」長谷川洋一（学芸員）
合計 120 人

シンポジウム「海たび　伊勢湾から大阪湾まで」

8 月 25 日
基調講演　「海たび　紀伊・和泉・河内の海とひとびと～紀伊半島・大阪湾岸～」河内一浩氏

（羽曳野市市長公室世界文化遺産推進室主幹）
パネラー　河学芸員内一浩氏・藤井康隆（学芸員）・長谷川洋一（学芸員）

63人

現地見学バスツアー「日間賀島の海の歴史さんぽ」
7月27日・9月8日（各日定員40人）
見学地　日間賀島（愛知県知多郡南知多町）

73人

海のロープワーク体験
7月15日・7月21日　各日2回
レクチャー　中日海洋少年団

計71人

船絵馬・ミニ大漁旗を作ろう
8月11日～8月19日の毎日

船絵馬478人・大漁旗153人

知多半島観光圏協議会　観光案内ブース・PRイベント

（2）　特別展「古代アンデス文明展」

会　　期　10月6日～12月2日
（開室日数48日）
会　　場　特別展示室・部門展示室
主　　催　名古屋市博物館　CBCテレビ
中日新聞社
観 覧 料　一　般　1,300円　　高大生　900円
小中生　500円
観覧者数　50,452人
展示意図　　古代アンデス文明はアメリカ大陸太平洋沿岸部において、先史時代からインカ帝国が滅亡する16世紀までの間に栄えた文化全体を指す。土器や黄金製品、ミイラなど各文化の多彩な資料とともに、アンデスの一大文明史を紹介した。
展示件数　197件
印 刷 物　ポスターB1・B2・B3判　チラシA3二ツ折　こどもチラシA4判二ツ折　出品リストA3判二ツ折　観覧券　広告用割引券　招待状　スタンプラリー用紙
関連事業
記念講演会
10月13日「古代アンデス文明　その誕生から滅亡まで」篠田謙一氏(本展監修者/国立科学博物館副館長 兼 人類研究部長)

220人

10月20日「古代アンデスとはどんな文明だったのか？」渡部森哉氏(南山大学 人文学部教授)

220人

展示説明会
10月14日　川合剛（調査研究員）　94人
11月3日　西澤光希(学芸員)　95人
11月11日　西澤光希(学芸員)　85人
アンデスクイズ＆スタンプラリー
展示期間中、会場内で「アンデス文明の謎」に迫るクイズとスタンプラリーを実施。
しあわせ“もふもふ”アルパカがやってくる！
10月27日　10時～16時
アルパカとふれあいながら一緒に写真が撮れる記念撮影会を実施(10時・11時30分・13時30分・15時)。

30組×4回

会　場　博物館庭園
協　力　株式会社 青空

247人

ロビーコンサート
「あの懐かしの中南米音楽をあなたに～ラテンリズムに心躍らせて～」
11月4日
演奏者　Los Cincuentas
（ロス シンクエンタス）
会　場　1階ロビー

約370人

ロビーコンサート
「アンデスの風に乗って」
11月10日
演奏者　グルーポ　サヤ　アンデス
会　場　1階ロビー
協　力　宗次ホール

約370人

名古屋市博物館×宗次ホール提携企画
スイーツタイムコンサート
「遥かなるアンデスを想う」

10月25日
演奏者　グルーポ　サヤ　アンデス
会　場　宗次ホール
協　力　宗次ホール

約250人

(3)　特別展「画僧　月僊」

会　　期　12月15日～平成31年1月27日
（開室日数32日）
会　　場　特別展示室・部門展示室
主　　催　名古屋市博物館、中日新聞社
日本経済新聞社、テレビ愛知
協　　力　株式会社まるや八丁味噌
助　　成　公益財団法人 花王芸術・科学財団
観覧料　一　般 1,300円　高大生　900円
小中生　500円
観覧者数　10,598人
展示意図　江戸時代に活動した名古屋生まれの画僧・月僊（1741～1809）について、仙人を描いた人物画を軸に多様な画業を紹介。併せて社会福祉に取り組んだ仏教者としての姿も取り上げた。
展示件数　115件168点
印刷物　図録 A4 変形判 ポスターB1･B2･B3 判 チラシA3判二ツ折　出品リストA3判二ツ折　観覧券　招待状

関連事業

記念講演会
12月22日「応挙・蕪村・月僊」山口泰弘氏（三重大学教授）
111人

展示説明会
12月24日「尾張三河と月僊」横尾拓真（学芸員）
83人

ギャラリートーク
平成31年1月4日、5日、6日「月僊作品の見どころ」横尾拓真（学芸員）
計152人

プレゼント企画
12月22日～24日、平成31年1月4日～6日「月僊も愛した『天下無双』の味噌」をプレゼント
月僊と交流のあった大田家の伝統を引き継ぐ株式会社まるや八丁味噌の協力により、抽選で計60名に八丁味噌をプレゼントとした。

(4)　特別展「挑む浮世絵　国芳から芳年へ」

会　　期　平成31年2月23日～4月7日
（開室日数36日）
会　　場　特別展示室・部門展示室
主　　催　名古屋市博物館、中日新聞社、
東海テレビ放送
協　　賛　野崎印刷紙業
観覧料　一　般　1,300円　高大生　900円
小中生　500円
観覧者数　33,562人（3月31日まで）
※42,125人（4月7日まで）
展示意図　幕末の浮世絵師歌川国芳の武者絵を中心としながら、月岡芳年ら弟子たちの作品にもスポットを当てた。そして幕末から明治にかけ、国芳の個性がどのように継承され、変化していったのかを、尾崎久弥、高木繁のコレクションなど当館が所蔵する浮世絵によって紹介。今後、全国4会場を巡回予定。
展示件数　152件285点
印刷物　図録B5変形判　ポスターB1･B2･B3判 先行チラシA4判　チラシA4判　出品リスト A3 判二ツ折　観覧券　広告用割引券　招待状

関連事業

講演会
2月24日「国芳と芳年の快感」神谷浩（副館長）
220人

博物館寄席
3月2日　講談師 旭堂鱗林氏・落語家 雷門幸福氏
220人

博物館夜学　怪の集い
3月3日、21日　津田卓子（学芸員）
計200人

展示説明会
3月8日、16日　津田卓子（学芸員）
計246人

4　イキイキ博物館

(1)　はくぶつかんのなつまつり

昼の部 ワークショップまつり

日　時　8月4日、5日　10時～15時

場　所　常設展示室内

概　要　　博物館ボラテンィアにより、4つのワークショップを開催。

石器体験	312人
組紐作り	104人
名古屋市パズル	119人
風呂敷	114人
合計	649人

夜の部　ナイトミュージアム「はくぶつかんでナイトズー　大イタチのナゾにせまるよー」

日　時　8月5日18時30分～20時

場　所　常設展示室（入場無料）

概　要　　常設展を見世物小屋に見立て、江戸時代の見世物に登場した干物の三尊仏やアザラシ、祭りの造り物である掃除道具一式のカマキリ、落語に登場するナゾの生物ベナなどを口上とともに紹介した。参加者は最後に六尺の大イタチのナゾ解きに参加した。

参加者851人

このほか、プロムナード、駐車場にて瑞穂通商店街による「はくぶつかん茶屋」、博物館地域連合会企画の和太鼓演奏などが行われた。

(2) はくぶつかん古書市

日　時　9月8日～9月17日
9時30分～17時

会　場　展示説明室前

概　要　　郷土史・歴史書の古書販売を、名古屋古書組合の協力により実施した。

(3)　フェスタ名市博2018～春～

日　時　平成30年4月28日・29日
9時30分～15時30分

会　場　展示説明室、常設展示室

参加費　一部有料（常設展示室入室の場合）

概　要　　名古屋市立大学博物館サポーターMAROによるワークショップ等のイベント。組紐やメッセージカード、タッセルなどを作るワークショップ、常設展示室をまわる各種のクイズなどで色々な体験ができるようにした。

238人

(4)　スクープ名市博！～めざせエリート新聞記者～

日　時　平成30年10月20日～21日
10時～15時

会　場　展示説明室、常設展示室

参加費　一部有料（常設展示室入室の場合）

概　要　　名古屋市立大学博物館サポーターMAROによるクイズ・ゲーム・迷路等のイベント。新米新聞記者が博物館取材を通じて一人前になる、というストーリーで進行した。

188人

(5)　そうだ、歴史で遊ぼう

日　時　平成31年2月23日・24日
9時30分～15時30分

会　場　常設展示室

参加費　有料（常設展観覧料、中学生以下無料）

概　要　　名古屋市立大学博物館サポーターMAROによるクイズラリー・ワークショップ等のイベント。常設展示室をまわる「おつかいゲーム」、展示資料から題材を取った「太閤検地ゲーム」や、組紐体験、掛け軸しおり作りのワークショップ、「考える人」大喜利と、さまざまなメニューを用意して、遊んで歴史を学んでもらえるようにした。

726人

Ⅱ　教 育・普 及

1　広　報

各展覧会でプレスリリースを作成し、報道機関等への積極的な情報提供を行った。ポスター・チラシの配布方法も、ホームページによる広報についても、最大の効果を生むべく展覧会ごとに調整した。　ホームページアクセス件数　552,380 件

2　団　体　観　覧

団体観覧は、小中高校生による常設展「尾張の歴史」や企画展等の見学と、小学校 3 年生の「くらしのうつりかわり」・「くらし体験学習室」の見学が主なものである。平成 14 年度から総合的な学習の時間が設けられ、少人数のグループでの課題をもった「調べ学習」を目的とした来館（30 年度は 56 校 1,373 人）が主流となっている。

3　教　育　活　動

博物館に親しむとともに、個人の歴史学習意欲の充実を促す目的で教育活動を展開した。今年度で 16 年目となった「出前歴史セミナー」、「歴史体験セミナー」に加え、児童生徒の常設展見学に資するため「歴史に親しむ事業」として、家康スタンプシートを改良した。また、「くらし体験学習室」は平成 14 年度から形を変えつつ充実してきた事業である。30 年度はギャラリー第 7 室で行い、常設展示室で行った「くらしのうつりかわり」とあわせて、小学生の実物資料による体験学習効果を促進した。

(1)　出前歴史セミナー

教育委員会と博物館、美術館、科学館等が行っている「その道の達人派遣事業　出前ミュージアム」の一環として実施した事業である。学芸員が小中学校に出向き、実物資料を用いて説明する出前授業である。

「学区の歴史博士になろう」
出前 3 校　(7 学級 190 人)

「名古屋のまつりとからくり人形」
出前 8 校　(20 学級 624 人)

「合戦における火縄銃」
出前 7 校（19 学級 669 人）

「東大寺に行くナラ」
出前 8 校（15 学級 451 人）

合計　出前 26 校(61 学級 1,934 人)

(2)　歴史体験セミナー

おもに小中学生を対象に、学校休業日（土・日）や夏休みや冬休みに博物館を利用してもらうために、楽しみながら学べるプログラムを用意する。

①「むかしのおもちゃで遊ぼう！」
けん玉・人形など、少し昔のおもちゃで自由に遊ぶ。
7 月 18 日～9 月 2 日　2,643 人

②「自分だけのまが玉づくり」
加工しやすい石（滑石）を使ってまが玉を作る。
8 月 25 日・26 日　212 人

③「おいしく作ろう　おこしもん」
ひな祭りにゆかりのある菓子「おこしもん」を作る。
平成 31 年 2 月 23 日　104 人

④「お正月のおもちゃで遊ぼう」
双六や福笑い、カルタなどお正月に多く見られたおもちゃで自由に遊ぶ。
12 月 11 日～平成 31 年 1 月 6 日　1,146 人

合計 4,105 人

(3)　歴史に親しむ事業

名古屋市立小中学校の社会科担当教員の協力を得て、小中学生が博物館の常設展示を見学して効果的に学習できるように、考慮すべき点や所蔵資料の魅力、学習方法について意見を交わした。

今年度はそれらの意見を踏まえて、徳川家康スタンプシートを改良し、体験を充実させた。また、学習指導要領改定に伴う「くらしのうつりかわり」事業の見直しについても意見を得た。

(4) くらし体験学習室

小学校3年生社会科の「昔の道具とくらし」の学習課程にあわせ、昔の道具に触れ、くらしを体験的に学習できる「くらし体験学習室」を開室した。学校利用のない土曜・日曜・祝日は広く市民の利用に供した。

期　　間　平成31年1月5日～3月3日
団体利用　（平日）　午前9時30分～
　　計 26日　17,316人（246校）
一般利用　（土・日・祝）　午前9時30分～
　　午後4時30分
　　計 20日　4,611人
　　合計 21,927人（引率者826名を含む）

(5) 職場体験・職場訪問の受け入れ

中学生・高校生の職場体験・職場訪問の受け入れを行った。

職場体験：13校37人、職場訪問：19校132人

(6) 博物館実習生の受け入れ

対　象　大学における博物館関係科目専攻者・学芸員資格取得予定者
人　数　12校16 人
期　間　8月23日～8月27 日
　　5日間

(7) はくぶつかん講座

聴講無料

第1回 4月21日　文人の交流　－野口道直の還暦祝いを中心に－
　　学芸員　星子桃子　42人
第2回 5月3日　博物館行きから活きへ
　　学芸課長　瀬川貴文　50人
第3回 6月16日　秀吉の鷹狩り
　　学芸員　岡村弘子　124人
第4回 7月 7日　嵐絞り
　　学芸員　佐野尚子　47人
第5回 7月28日　北斎漫画と永楽屋
　　学芸員　津田卓子　85人
第6回 8月18日　陸軍名古屋特別大演習
　　学芸員　加藤和俊　86人
第7回 9月22日　伊勢湾台風
　　学芸員　鈴木　雅　95人
第8回 11月24日　尾張の円筒埴輪
　　学芸員　藤井康隆　117人
第9回 12 月1日　伊勢湾奥部の漁業資料
　　学芸員　長谷川洋一　35人
第10回 平成31年1月5日　浮世絵の楽しみ
　　副館長　神谷　浩　117人
　　合計　798人

4 刊行物

「名古屋市博物館だより」（年2回発行）
No.226～227 A4変形判 6頁 3,800部（無料）
「名古屋市博物館年報」No.41（平成29年度）
名古屋市博物館ホームページに掲載
「名古屋市博物館研究紀要」第42巻
A4判 48頁 700部 （有料）
「年間行事予定」　A3判 40,000枚　（無料）
猿猴庵の本『東街便覧図略』巻一（改訂版）
A4判 133頁　1,500部(有料)
（展覧会に関する印刷物は展示の項に記載）

5 友の会

平成30年度（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の正会員数は167人、家族会員26人、総計193人である。

年度を通して、役員会を4回開催し、会員の中から選出された役員（会長1人、副会長1人、理事3人、会計1人、監事1人）と共に、博物館側から、役員会の同意を得て委嘱した顧問1人および副会長1人、理事2人を充てて、今後の運営についての意見を交換した。

今年度は、自主的かつ持続可能な体制を具体的に構築すべく、事務を専任で行う臨時職員を雇用し、業務円滑化を進めた。役員においても、見学会担当理事と会計を新設した。

また、新たな試みとして「広報モニター会」を開催。会員を無料招待し（同伴者1人まで団体料金で参加可）、展覧会のモニターとして会員から意見を集約する場を設けた。

3月9日には総会を開催。事業報告と決算報告

を行った。加えて、任期満了に伴う役員改選を行った。
（総会参加人数は 29 人､67 人の正会員の委任状）

館外見学会
（1）5 月 24 日「戦国武将の息吹を感じる旅 IN 小牧・犬山」
見学場所　小牧市歴史館・犬山城・白帝文庫
参加人数 35 人
（2）11 月 17 日「信楽の魅力に触れる旅」
見学場所　紫香楽宮跡　MIHO MUSEUM
参加人数30人

広報モニター会
企画展　「博物館イキ！」　4 月 30 日　23 人
特別展　「海たび」　7 月 20 日　21 人
特別展　「古代アンデス文明展」
10 月 12 日　35 人（2 人）
特別展　「画僧 月僊」12 月 21 日　29 人（1 人）
特別展　「挑む浮世絵 国芳から芳年へ」
2 月 24 日　29 人（1 人）
＊（ ）内は会員の同伴者（古代アンデス文明展より開始）

6　共催の教育・普及事業

考古学セミナー「あいちの考古学 2018」

期日　11 月 17 日・18 日

愛知県埋蔵文化財センター、名古屋市教育委員会文化財保護室と共催で、愛知県内の考古学の調査・研究の成果を紹介した。弥生時代の気候変動をメインテーマとし、総合地球環境学研究所の中塚武氏の基調講演「日本史の命運を左右した気候変動―樹木年輪の酸素同位体比が語るもの―」が行われた。併せて「朝日遺跡の状況」「西志賀・平手町遺跡」「高蔵遺跡・見晴台遺跡」の 3 本の基調報告があり、発表者をパネラーに迎えたシンポジウムが開かれた。そのほか、県内の考古学関係者によるプレゼンテーション、ポスターセッションも行われた。

参加者　304 人

7　大学パートナーシップ

大学生に博物館の楽しさ素晴らしさを知ってもらうため、平成 22 年 4 月 1 日より大学パートナーシップ事業を始めた。学生証の提示により展覧会を観覧することができたり、展覧会に合わせて実施される展示説明会に加盟大学の枠を設けたりするなど、大学等と博物館の連携をはかった。

9 法人 12 大学:名古屋市立大学、学校法人菊武学園（名古屋産業大学・名古屋経営短期大学・菊武ビジネス専門学校・専門学校名古屋ウェディング＆フラワー・ビューティ学院）、名古屋大学、南山大学、愛知大学、愛知淑徳大学、名古屋学院大学、中京大学、愛知学院大学

利用者数 3,257 人

8　みんなの博物館応援基金

博物館において開催する事業の充実や設備・備品更新をすることで施設の魅力をアピールするため、市民の寄附及び博物館窓口で行える募金を募った。

○平成 30 年度に実施した内容
・来館者用ロッカーの修繕等

みんなの博物館応援事業寄附金

○平成 30 年度寄附実績
18 件　3,400,000 円

○寄附者（公開に同意の方のみ、受付順、敬称略）
野嵜 裕二、杉村 美行、飯田 和子
（ほか 15 名）

みんなの博物館応援募金

○平成 30 年度募金実績
47 件　65,000 円

Ⅲ 資　　料

1 調　査

(1) 資料情報

平成 30 年度に市内外から寄せられた資料に関する情報は、下表のように計 105 件であった。29 年度から 21 件減少であった。全体的に、民俗・文書典籍分野の近現代生活資料に関する情報が多く寄せられたが、本年度は美術工芸資料の情報が増加している。近年は住宅等の建替にともなう情報が多く、使用しなくなる生活道具の寄贈が中心であったが、古美術品も手放されるようになった傾向が見られる。

また、平成 31 年(令和元年)度の「伊勢湾台風 60 年事業」に向け、伊勢湾台風に関する資料の情報を広く募集したため、それに関する資料が多数受贈となった。

資料情報件数		件　数
地域別	市　　内	67 件
	市　　外	34 件
	不　　明	4 件
分野別	考　　古	1 件
(重複含)	美術工芸	31 件
	文書典籍	39 件
	民　　俗	37 件
	計	105 件

(2) 調査研究

「秀吉研究の推進」平成 24 年度から

この研究の目的は、全国に多数存在する豊臣秀吉の文書の情報を集積し、編年により翻刻掲載した『豊臣秀吉文書集』を刊行することにある。平成 25 年度には当該分野の研究者による同文書集の編集委員会を発足させ、26 年度 1 月に第 1 巻を発刊した。

30 年度は第 5 巻の発刊および第 6 巻の編集作業に関して計 4 回の編集会議を行い、文禄元年から 4 年までの発給文書の編年を検討した。また、一部の委員による集中審議を 2 回行った。

さらに、全国の研究施設・博物館へ情報提供依頼を行ったほか、東京大学史料編纂所などでの調査を行い、文書情報の収集につとめた。

2 収　集

(1) 資料収集方針

考古・美術工芸・文書典籍・民俗各分野において基本方針と目標を定め資料の収集を行った。

ア　考古分野

〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の考古に関する資料

日本考古学上基準となる資料

〔目　標〕

○名古屋を中心とする地域の個人コレクションの収集

○各時代・時期に当地域が属した「文化圏」内で出土したことが明らかな資料の収集

○出土地域に関わらず、以下の諸点において、当地域との関連が深いと認められる資料の収集

○資料自体が当地方の生産品であることが明らかな資料

○資料自体が当地方の属した「文化圏」の影響を受けている、あるいは当地方の属した「文化圏」に影響を及ぼしていることが明らかな資料

イ　美術工芸分野

〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の美術工芸に関する資料

日本美術全体の流れの上で基準となる資料

〔目　標〕

○名古屋を中心とする地域の画家および俳人の書画の収集

○同上地域の武将の肖像画や合戦図などに関連する資料の収集

○同上地域の武器・武具の収集

○同上地域の寺社で保有する文化財の一括収集

○陶磁器・金工・七宝・漆工芸・染織については、年紀銘、作者銘を有するもの、時代様式を端的に備えるもの等、基準資料たりえるものを収集

○彫刻については、全国レベルでみての重要資料の収集

○著名なコレクションで散逸の恐れがある資料の収集

ウ　文書典籍分野

〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の歴史に関する資料

日本史全体の流れの上で基準となる資料

〔目　標〕

○尾張の町方・村方文書など、一括資料の収集（尾張以外の尾張藩領を含む）

○尾張関係の典籍の収集（尾張の出版物・尾張に関する人物の著作など）

○名古屋市街図・地籍図の収集（尾張以外の尾張藩領の図を含み、広域図の場合は優品で価値の高い資料）

○尾張に関する文書・記録、および尾張に関係する人物の文書・記録などの収集

○尾張に所在した歴史的価値が高い資料の収集

○地域にこだわらず、古文書学上、基準的様式を具備する各時代の基本的文書の収集

○地域にこだわらず、書誌学上、重要な典籍類の収集（代表的な出版物・写本など）

○著名なコレクションで散逸の恐れがある資料の収集

エ　民俗分野

〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の民俗に関する資料

日本民俗全体の上で基準となる資料

〔目標〕

○名古屋を中心とする地域の民俗芸能用具ならびに儀礼・信仰関係用具の収集

○民俗事象を表す写真・映像・音源などの収集

○地域的な特色を示す衣・食・住に関する資料の積極的な収集

○名古屋を中心とする地域の災害関係資料の収集

○商業に関する資料の体系的な収集

○機械化されていない諸職用具の収集（製品見本、製作工程見本の製作依頼を含む）

○農具・養蚕具・製紙用具・亜炭採掘用具・漁具については館蔵品の補完的収集

○絞りについては、海外のものも含む重点的な収集

○名古屋を中心とする地域の遊戯具・玩具・食玩の収集（製作依頼を含む）

○明治以降の産業資料のうち、時計、バイオリン、企業が製造した製造機械の収集

(2) 収集資料の概要

平成30年度は、受贈と購入により、256件1,010点の資料を収集した。これにより資料収集の累計は、24,210件270,749点 となった。

受託資料は新たに7件11点を受託した結果、14,376件47,735点となった。

ア 考古分野

考古分野では、8件44点の資料を収集した。

入鹿池遺跡出土石器・総濠遺跡出土石器は開館以来、常設展示室に通年展示し、近年受託したもの。入鹿池遺跡は犬山市の入鹿池沿岸に所在する県内最大級の旧石器時代遺跡のひとつ。総濠遺跡は小牧市に所在する旧石器時代から縄文時代の遺跡で、正式な発掘調査はおこなわれていないが、古くから土器・石器が採集されてきた。いずれも尾張地域における旧石器時代を代表する遺跡のまとまった資料であり、今後も引き続き常設展で公開する。

また、鬼面文瓦当は4～5世紀の高句麗のものである。鉄鏃は、劣化が進むものの完形で高句麗の主要な鉄鏃形式2種であり、標識的事例として活用できる。

この他、142 石鏃は新潟県上越市柿崎区、162石匙は秋田県田沢湖での採集品で、いずれも縄文時代のものである。中区大須観音採集瓦は、近代尾張の俳人伊藤観魚による採集資料として受贈した。

イ 美術工芸分野

美術工芸分野は11件12点（屏風1双は1点）の資料を受贈した。

当地域に関連する資料としては、明治初年に制作された磁胎七宝３件を受贈した。内「花蝶文七宝植木鉢」「草花文瓢型七宝花瓶」は底銘から名古屋の七宝会社による製品であることが判明するものである。また「花鳥文七宝水差」は、「◇勘」の銘があり、胎となる磁器を瀬戸の陶工・加藤勘四郎が制作したことが理解できる。いずれも

明治初年のわずかな時期に、瀬戸の磁器産業と関わりながら製造された磁胎七宝の貴重な作例と言えるものである。

明治期に活躍した浮世絵師・月岡芳年「奥州安達がはらひとつ家の図」は、よく知られた芳年の力作であり、当館の芳年コレクションを補完する作例として受贈した。特別展「国芳から芳年へ」においても出品資料として活用している。

三重県個人より受贈した短筒２挺のうち1挺は幕末に用いられた珍しい管打ち式のものである。

特別展「画僧月僊」開催により情報が多く寄せられ、西園雅集図下絵はその成果である。

寄託品としては、市内個人より愛知県指定文化財・渡辺崋山手録 3 冊を受託した。文人画家渡辺崋山の活動を知る好資料である。

ウ 文書典籍分野

文書典籍分野では、120 件 471 点の資料を受贈した。今年度は、特に幕末から近現代にかけての特色豊かな様々な一括資料を受贈することができた。

鬼頭幸七家資料は、松坂屋の創業家伊藤次郎左衛門家の家業を支えた別家衆の中のひとつに伝来した資料。鬼頭幸七家は、幕末に松坂屋別家衆に取り立てられ、近代の伊藤家発展に貢献した家である。3 代目幸七は、明治 43 年に松坂屋がデパートになった当時の番頭で、後の支配人。当時の資料が多数残存しており、名古屋の近現代商業史を物語る、貴重な資料である。

長谷川敬は、幕末の尾張藩主慶勝の側近として活躍した高須藩出身の尾張藩士である。同家には、当時の尾張藩について記したものや、慶勝からの拝領品が伝来しており、すでに過去２回寄贈を受けている。今回は子孫のもとに残っていたすべての資料を寄贈いただくことになり、これで、長谷川敬家資料の全体が把握できるようになった。

知多半田で、幕末頃活躍した画家、小栗錦水宛の書状巻・書状を受贈した。書画の発注に関わるものが多い。尾張藩士で俳諧をよくした吉原黄山から錦水に宛てた書状 26 通も含まれ、文化人交流の一端を伺い知ることのできる好資料である。

名古屋市叢雲国民学校学童疎開資料を受贈した。現在の村雲小学校の前身で、江南市の曼陀羅寺に疎開した時の名簿や会計簿などの資料である。写真や記録も残存しており、不明な点が多い学童疎開の実態が見えてくる、あまり類をみない史料である。

東泉堂宝船関係資料は、昭和 22 年から名古屋市内の各所で催された「宝船頒布会」に関わる資料である。「宝船乗合会」という名古屋市内の店舗・個人の有志によって結成された会が、宝船を頒布するという催しで、昭和区の東泉堂も乗合会員で宝船を配布していた。頒布会の幟や芳名帳、また独自で収集した各地の宝船などを受贈した。戦後名古屋の復興に向けての取り組みを知る上で、興味深い資料である。

竹村文男写真資料は、昭和後期の名古屋の風景を撮影した資料である。昭和 30 年代の栄や名古屋駅周辺、開通したばかりの地下鉄の駅など、名古屋の主要な地区の様子を撮影したもので、この時代の名古屋の良質な記録として貴重である。

エ 民俗分野

民俗分野では 115 件 481 点の資料を受贈した。

民俗資料は、家の建て替えや整理の際に出てきた生活道具についての問い合わせが多く、収蔵資料のさらなる充実を目指してさまざまなものを受贈した。

一方、まとまった資料群の受贈もいくつかあった。そのうちの一つ、在野の民俗学者、脇田雅彦氏・節子氏が全国各地で収集した「脇田夫妻収集民俗資料コレクション」は、自然繊維を素材とした履物や運搬道具、籠類などで、現在生産・製作されていない資料も多く、希少なコレクションである。また名古屋市の光学関連機器メーカー、エルモ社の製品を一括で受贈した。資料は同社歴史館で展示されていた光学機械の体系的なコレクションで、日本における小型映画の黎明から大衆化の歴史を知ることのできる資料である。それ以外に、国指定重要文化財である豊根村熊谷家住宅に残る衣裳類を一括で受贈した。資料は、明治から昭和にかけて着用された晴着を中心とした衣裳類で、愛知県を代表する民家に伝わる資料の保存として意義深い。

昨年に引き続き名古屋市内の諸職の道具もまとまって寄贈があった。中川区の鬼頭染物店に関する資料は､昭和 30 年代まで営業していた染物店の資料で、藍甕、伸子針、半纏などが含まれる。鬼頭染物店は伊勢湾台風を機に廃業しており、「名古屋を中心とする地域の災害関係資料」としても活用できる。また、中区で営業していた三味線屋浅田屋の資料は、三味線の小売店として営業していた昭和から平成 22 年までの資料が中心で、三味線の材料となる木材やそれを加工する道具類である。これらは三味線の製造過程がよくわかる資料として貴重である。

(3) 「よみがえれ文化財」事業

当館が所蔵する資料の中には、劣化などのため､そのままでは展示･活用できない資料がある。そうした資料を後世に伝え、活用していくための修復などを目的として基金をつくり、市民の寄附を募り、事業を行った。

○対象とする主な事業

・博物館資料（写真資料等）のデジタル化
・博物館資料（金属等）の保存処理
・博物館資料（絵画・文書等）の修復
・博物館資料（刀剣等）の研ぎ
・博物館資料の展示具の製作

上記のほか、資料の修復・保存・活用などを目的とする。

○平成 30 年度に実施した事業

・足立喜六資料ガラス乾板　保存処理・デジタル化

○平成 30 年度寄附実績

11 件　5,472,000 円

○寄附者（公開に同意の方のみ、受付順、敬称略）

横地 清（ほか 10 名）

【平成 30 年度名古屋市博物館資料収集状況】

	平成 30.4.1 ～ 31.3.31						総合計（平成 31.3.31 現在）					
	受　贈		購　入		計		受　贈		購　入		計	
	件	点	件	点	件	点	件	点	件	点	件	点
0 総集	1	1	−	−	1	1	55	123	156	206	211	329
1 考古	8	44	−	−	8	44	2,867	121,774	283	1,717	3,150	123,491
2 絵画 3 彫刻 4 工芸	11	12	−	−	11	12	2,340	14,165	875	1,312	3,215	15,477
5 文献	120	471	1*	2*	121	473	7,158	67,444	2,035	18,259	9,193	85,703
6 生活 7 生産 8 民族	115	480	−	−	115	480	8,142	44,405	270	1,216	8,412	45,621
9 自然	−	−	−	−	−	−	29	128	−	−	29	128
計	255	1008	1	2	256	1,010	20,591	248,039	3,619	22,710	24,210	270,749

*基金からの買い戻し(基金による購入は買い戻し時に計上)

3 特 別 利 用

	熟覧	模写	模造	拓本	原板使用			撮 影			合計
					(1)	(2)	小 計	(1)	(2)	小 計	
利用申請件数	38 件	4 件	3 件	1 件	131 件	24 件	155 件	4 件	0 件	4 件	205 件
資料件点数	232 件 319 点	11 件 11 点	9 件 9 点	1 件 1 点	318 件 340 点	41 件 41 点	359 件 381 点	6 件 6 点	0 件 0 点	6 件 6 点	618 件 727 点

(1)出版物、テレビ放送などへの掲載(使用)目的　　(2)調査研究目的

4 資料の貸出

貸出期間	貸出先(会場)	貸出目的(展覧会名・会期)	おもな貸出資料
4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日	名古屋市見晴台考古資料館	常設展 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日	銅鐸形土製品(複製) 1 件 1 点
4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日	美濃加茂市民ミュージアム	常設展 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日	二ツ塚遺跡出土資料のうち石匙 はじめ 11 件 43 点
①4 月 1 日 ～6 月 15 日 ②9 月 15 日 ～12 月 15 日	華ひらく皇室文化展実行委員会 ①名古屋会場(徳川美術館・蓬左文庫) ②京都会場(京都府京都文化博物館)	明治 150 年記念「華ひらく皇室文化―明治宮廷を彩る技と美」 ①4 月 17 日～5 月 27 日 ②10 月 2 日～11 月 25 日	①菊花御紋章入七宝箱（寄託品） 1 件 1 点 ②菊花御紋章入七宝箱（寄託品） はじめ 4 件 4 点
4 月 1 日 ～6 月 30 日	龍谷大学龍谷ミュージアム	春季特別展「お釈迦さんワールド―ブッダになったひと―」 4 月 21 日～6 月 17 日	過去現在絵因果経断簡（寄託品） 1 件 1 点
4 月 10 日 ～6 月 8 日	斎宮歴史博物館	春季企画展「王朝人が愛でた動物たち～あなたはイヌ派?ネコ派?それとも?～」 4 月 21 日～6 月 3 日	賢女烈婦伝 大納言行成女 はじめ 2 件 2 点
4 月 23 日 ～6 月 23 日	横須賀美術館	企画展「集え！英雄豪傑たち」 4 月 28 日～6 月 17 日	神武帝図 1 件 1 点
6 月 9 日 ～9 月 16 日	愛知県陶磁美術館	特別企画展「知られざる古代の名陶 猿投窯」 6 月 30 日～8 月 26 日	七連蓋杯・有蓋高杯 はじめ 3 件 24 点
6 月 18 日 ～9 月 14 日	奈良国立博物館	特別展「糸のみほとけ―国宝 綴織当麻曼陀羅と繍仏―」 7 月 14 日～8 月 26 日	刺繍如意輪観音像（寄託品） 1 件 1 点
7 月 10 日 ～10 月 20 日	名古屋ボストン美術館	最終展「ハピネス～明日の幸せを求めて」 7 月 24 日～10 月 8 日	鯉図 はじめ 4 件 6 点
8 月 17 日 ～12 月 2 日	東京都江戸東京博物館	特別展「士 SAMURAI―都市江戸の風景―」 9 月 14 日～11 月 4 日	勝海舟一族写真 はじめ 2 件 7 点
8 月 20 日 ～11 月 2 日	田原市博物館	特別展「渡辺崋山の神髄」 9 月 8 日～10 月 21 日	渡辺崋山手録（寄託品）の内 1 件 2 点

9月14日 ～11月23日	岡崎市美術博物館	企画展「明治150年 近代日本の挑戦者たち―博覧会にみる明治の三河」 9月29日～11月11日	画本開帳談話 はじめ5件13点
9月18日 ～11月16日	あま市七宝焼アートヴィレッジ	企画展「明治の七宝」 9月22日～11月11日	百花文七宝大皿 はじめ7件11点（寄託含）
9月19日 ～12月8日	柿衞文庫	秋季特別展「芭蕉の手紙」 10月6日～11月11日	松尾芭蕉書状 はじめ5件5点
9月25日 ～12月10日	桑名市博物館	特別企画展「村正展Ⅱ―村正と五箇伝―」 10月6日～11月25日	短刀銘村正 1件1点
9月21日 ～11月30日	大垣市むすびの地記念館	企画展「真筆にみる芭蕉と大垣～重ねる交流、深まる心～」 9月29日～11月11日	古風檀林蕉風俳人短冊帖 はじめ2件2点（寄託含）
10月1日 ～11月30日	出雲文化伝承館	「没後200年 松平不昧―茶と人となり―」 10月13日～11月25日	松平不昧書状 1件1点
10月1日 ～12月15日	山梨県立博物館	企画展「文字が語る 古代甲斐国」 10月13日～12月3日	和名類聚抄 1件1点
10月1日 ～12月21日	滋賀県立安土城考古博物館	特別展「キミそっくりな古代人がいたよ原始・古代の人物表現」 10月20日～12月2日	土偶（古沢町遺跡出土） 1件1点
10月10日 ～12月10日	MIHO MUSEUM	秋季特別展「百の手すさび―近代の茶杓と数寄者往来―」 10月20日～12月2日	古田織部茶杓 はじめ4件4点
10月15日 ～12月27日	愛知県陶磁美術館	特別展「瀬戸―かく焼き繋ぎ 江戸時代の本業と新製」 10月27日～12月16日	香炉（中川家武具生活用具の内） はじめ7件12点
10月16日 ～12月14日	栃木県立博物館	企画展「藤原秀郷―源平と並ぶ名門武士団の成立―」 10月27日～12月9日	近江八景之内 堅田落雁 平将門 はじめ4件6点
平成31年2月5日 ～3月31日	豊橋市美術博物館	企画展「吉田天王社と神主石田家」 平成31年2月19日～3月24日	津島祭礼図巻 中・下巻 はじめ2件3点
平成31年2月20日～令和元年5月20日	埼玉県立歴史と民俗の博物館	特別展「東国の地獄極楽」 平成31年3月16日～令和元年5月6日	猿猴庵合集五編 1件1点
平成31年3月1日～令和2年3月31日	台湾中央研究院地球科学研究所	飯塚義之 担当「中部地方の縄文時代遺跡出土石器におけるネフライト製石器の抽出および石材産地の分析研究」	大曲輪遺跡出土石斧 はじめ4件4点
平成31年3月25日～令和元年5月24日	根津美術館	特別展「尾形光琳の燕子花図―寿ぎの江戸絵画」 平成31年4月13日～令和元年5月12日	伊勢参宮図屏風 1件1点
平成31年3月25日～令和2年3月31日	名古屋市文化財保護室（しだみ古墳ミュージアム）	しだみ古墳ミュージアム常設展示 平成31年4月1日～令和2年3月31日	白鳥第1号墳出土資料 はじめ7件14点
合計	貸出先件数　28件		貸出資料総件点数 85件173点

収集資料目録

Ⅰ　受贈資料一覧　（分類順）

分類	資料名	点数	時代
062	鹿子神車山車模型	1点	平成
112	土偶	1点	縄文時代後期
117	大須観音採集瓦	6点	江戸後期
120	入鹿池遺跡出土石器	17点	旧石器時代～縄文時代
120	総濠遺跡出土石器	15点	旧石器時代～縄文時代
142	石鏃	1点	縄文時代
162	石匙	1点	縄文時代
192	鬼面文瓦当	1点	高句麗中期（4～5世紀）
192	鉄鏃	2点	高句麗中期（4～5世紀）
218	熱田参詣図屏風（熱田社古図屏風模本）	1隻	江戸後期
218	阿弥陀三尊来迎図	1幅	江戸後期
226	源氏物語図屏風	6曲1双	江戸中期
259	西園雅集図下絵	1枚	江戸後期
271	奥州安達がはらひとつ家の図	1点	明治18年(1885)
436	花蝶文七宝植木鉢	1基	明治
436	花鳥文七宝水差	1口	明治
436	花鳥文瓢型七宝花瓶	2口	明治
483	槍	1口	江戸後期
494	短筒（火縄式）	1丁	江戸後期
494	短筒（管打式）	1丁	江戸後期
501	名古屋市叢雲国民学校学童疎開資料	一括	昭和前期
501	鬼頭幸七家資料	一括	江戸時代～現代
501	服部家資料	一括	江戸時代～近代
501	長谷川敬家資料	一括	江戸後期
504	栗田家資料Ⅱ	一括	昭和
504	東泉堂宝船関係資料	一括	昭和前期
508	安井銀之丞資料	一括	明治～昭和後期
525	小栗錦水はじめ一族宛書状巻	1巻	江戸後期
525	小栗錦水宛黄山書状	26通	江戸後期
532	矢野平兵衛（二道）宛書簡	2通	昭和
534	年内馳走覚書	1点	明治
534	諸事覚	2点	明治～大正
548	小関いの女史	1綴	昭和前期
565	伊藤観魚作品類（伊藤観魚色紙）	6点	大正～昭和
566	書「幻身何以愛」水谷忠厚筆	2幅	昭和
567	蛸図并賛	1点	大正～昭和
571	（名古屋市）桜田耕地整理確定図　第８４号	1枚	大正～昭和
572	名古屋市南部（地図）	1枚	昭和前期
572	大名古屋全図	1枚	大正
572	名古屋港全図	1枚	(明治)
572	名古屋市街全図	1枚	昭和前期
572	呼続耕地整理組合地区第四残余地位置図	1枚	近代
572	名古屋市全図　付：第十回関西府県聯合共進会会場全図	1枚	明治
572	名古屋市全図	1枚	(明治)
572	高蔵町略図　昭和十二年一月	1枚	近代
572	名古屋北部(修正測図)	1枚	昭和前期
572	大名古屋全図(増区地図)	1枚	昭和前期
572	熱田区高蔵町番地割図	2枚	近代
572	感化救済事業所在地図（名古屋市）	1枚	近代
574	葉栗郡全図	2点	大正
574	愛知県耕地整理施行地略図	1枚	大正
574	愛知県西加茂郡勢一班	1枚	大正

574	愛知県管内全図	2 枚	大正
574	愛知県管内図(愛知県勢要覧)	1 舗	昭和前期
574	大正五年愛知県渥美郡神戸村々勢一覧	1 枚	大正
574	感化救済事業所在地図(愛知県)	1 枚	大正
574	岡崎市全図	1 枚	昭和
574	愛知県一宮町地図	1 点	大正
574	岡崎市略図(岡崎市勢要覧)	1 枚	大正
574	愛知県勢要覧	1 舗	昭和後期
574	愛知県管内全図	1 枚	大正
574	砂防指定地区域図(愛知県)	1 枚	明治
574	愛知県管内全図	1 枚	大正
574	愛知県丹羽郡図	1 枚	大正
574	愛知県白地図	1 枚	近代
574	東春日井郡略図	1 枚	近代
576	東京府管内図	1 枚	大正
576	(名古屋新聞附録)中部日本分割図第一	1 枚	大正
576	(名古屋新聞附録)中部日本分割図第二	1 枚	大正
576	青森大林区管内森林分布図	1 枚	近代
576	新制大東京市全図	1 枚	昭和前期
576	宮下(地図)	1 枚	大正
576	最新東京府全図	1 枚	大正
576	最新福岡市街及郊外地図	1 枚	近代
576	西海道全図	1 枚	近代
576	福島県管内図	3 枚	近代
576	福島県伊達郡全図	1 枚	大正
576	大日本分県地図之図 最新秋田県全図	1 点	大正
576	福島県須賀川町全図	1 枚	昭和前期
576	大東京全図 西南部方面	1 枚	昭和前期
576	福島県管内全図	1 枚	近代
576	郡山市全図	1 枚	昭和前期
576	福島県管内全図	1 枚	近代

576	三春町略図	1 枚	近代
576	福島県勢要覧	1 舗	昭和前期
576	増補訂正　福島県管内地図	1 枚	昭和前期
576	全日本最新名勝名物地図	1 枚	昭和前期
576	奈良名勝案内図	1 枚	大正
576	福島県大沼郡全図	1 枚	大正
576	(町界丁目界番地入)新大東京明細全図	1 枚	昭和前期
576	帝国大日本里程細図	1 枚	明治
578	旅順口并附近明細地理早見	1 点	明治
578	時事新報西比利亜全図	1 枚	大正
578	最新朝鮮案内	1 点	大正
578	西南諸島之図　南方諸島之図	1 枚	近代
578	蘭領東印度及南陽諸島要図	1 枚	昭和前期
578	朝鮮案内・朝鮮地図	1 点	大正
578	北米合衆国全図	1 枚	明治
578	(報知新聞社附録)上海	1 枚	昭和前期
578	(新愛知附録)大動乱の歐洲詳細地図	1 枚	昭和前期
578	最新世界地図	1 枚	昭和前期
587	関東大震災記	1 冊	大正 12 年
587	大震災写真画報	3 冊	大正 12 年
588	海行かば 第十二号	1 部	昭和前期
591	三州設楽郡長篠古戦場図	2 枚	明治
591	(新愛知　第六千六百七拾五号附録) 第十回関西府県聯合共進会々場全図	1 枚	明治
591	即位礼紫宸殿配置図	1 枚	昭和３年
593	川村尚作写真資料	24 枚	昭和後期
593	竹村文男写真資料	1 括	昭和後期
593	平和記念東京博覧会写真帖	1 冊	大正
594	ガラス乾板	2 点	昭和前期
597	川村圭一戦死通知類	5 点	昭和
597	愛知県(名所案内鳥瞰図)	1 点	昭和前期（昭和９年発行）

597	知多半島大観	1 冊	昭和前期（昭和８年発行）
597	知多半島新四国八十八ヶ所巡拝図会	1 組	昭和前期（昭和４年発行）
597	世界一南知多　内海サンドスキー場	1 枚	昭和前期
597	世界一南知多　内海サンドスキー場	1 枚	昭和前期
597	大名古屋八十八ケ所霊場	1 冊	昭和後期
597	国民精神総動員パンフレット第三号	1 冊	昭和後期
597	熱田地陵墓考	1 冊	昭和後期
597	支那事変の理由と国民の覚悟	1 冊	昭和後期
597	一宮市勢一覧	1 枚	大正
597	岡崎市勢要覧	1 点	昭和前期
597	優良町村其他各種表彰一覧	1 枚	大正
597	伸びゆく市勢(名古屋市)	1 部	昭和前期
597	湯本町水道概要	1 部	昭和前期
597	あつた史跡案内	1 舗	昭和後期
597	福島平地の戦史	1 綴	昭和前期
597	関東震災全地域鳥瞰図絵	1 部	大正 12 年
597	パンフレット類	283 点	昭和前期
598	信州木曽御嶽山図面	1 枚	大正
598	会津柳津極空蔵全図	1 枚	昭和前
598	東京駅前交通整理	1 枚	近代
598	愛知県社会事業便覧	1 枚	大正
598	明治天皇氷川神社御親祭勅書拝写	1 点	(大正)
598	長篠古戦場及戦備之図	1 枚	大正
和さ	西国霊場簡易行道巡礼の友	1 綴	近代
和す	随一大雑書古今大成	1 冊	江戸後期
和ち	風流漫筆　知多めぐり	1 冊	昭和 12 年発行
和れ	改正 列藩一覧 全	1 冊	明治
600	脇田夫妻収集民俗資料コレクション１	一括	昭和
600	脇田夫妻収集民俗資料コレクション２	一括	昭和

610	熊谷家住宅衣装	一括	明治～昭和
611	ドウギ	1 点	昭和
611	喪服	1 式	昭和後期
611	着物	2 点	昭和前期
611	半纏	1 点	昭和前期
611	着物	2 点	昭和前期
611	羽織	2 点	昭和後期
613	作りつけ帯	1 点	昭和
613	作りつけ帯	3 点	昭和後期
613	前掛	1 点	昭和後期
616	マント	1 点	大正～昭和前期
617	髪飾り	1 点	明治～昭和前期
617	櫛	1 点	明治～昭和前期
617	髪飾り	一括	昭和
619	伸子針	1 式	昭和後期
619	足踏みミシン	1 点	昭和後期
622	壷	2 点	江戸時代末期
622	屋根神	1 式	大正～平成
624	押寿司器	2 点	明治～昭和前期
624	かつお節削り器	1 点	昭和後期
629	菓子型	10 点	昭和
633	水屋箪笥	1 点	昭和後期
634	箱枕	1 点	明治～昭和
635	提灯	9 点	江戸後期～近代
635	電気足温器	1 点	昭和後期
635	カメヤマローソク	4 箱	昭和前期
635	湯たんぽ	1 点	昭和
635	燭台	1 点	江戸時代～明治
636	井戸調査表	1 冊	昭和前期
636	金鳥香	3 箱	昭和前期
636	ホドヂン	1 箱	昭和前期
636	ハイトリック	1 台	大正
645	土人形	5 体	昭和前期
645	コマ	9 点	昭和後期
645	メンコ	一括	昭和後期
645	伊藤観魚収集郷土玩具	29 点	大正～昭和
645	新案　騎兵撒紙競走遊技	1 枚	明治
645	びんてまり	4 個	明治～昭和後期
646	鳥籠	9 点	昭和～平成
648	カメラ(ミノルタ SR-1)	1 点	昭和後期

648	レンズ(ミノルタ AUTO ROKKOR -PF F1.4)	1点	昭和後期
648	8mmカメラ (ELMO 8-AA)	1点	昭和後期
648	レンズ(ZUNOW CINE LENS)	1点	昭和後期
649	16mmフィルム「ああ恐ろしい悲惨な天災 伊勢湾台風の悲惨な現場の再建と25年後の追悼式迄」	1点	昭和後期
649	16mmフィルム「ああ天災伊勢湾台風」	2点	昭和後期
649	レコード盤 (聯合艦隊解散式訓示)	1点	昭和前期
649	レコード盤 (戦陣訓)	1式	昭和前期
649	映画フィルム「昭和２年頃の名古屋」	1巻	昭和前期 (昭和２年頃)
651	泗水証	1点	明治
651	教育に関する勅語	1枚	昭和前期
652	農業教本	1点	大正
652	なつのせいかつ	5冊	昭和後期
652	ふゆのくらし	4冊	昭和後期
652	小学日本歴史　一	1冊	明治
654	和文タイプライター	1点	昭和後期
654	鉛筆	221本	昭和前期
655	吸入器	1点	昭和
655	氷嚢吊	1点	昭和後期
659	上皿ばね秤	1点	昭和後期
659	台秤	1点	昭和後期
659	枡	3点	昭和前期
662	屋根神	1式	昭和
663	護符	一括	江戸後期～近代か
663	護符	一括	江戸後期～明治
678	牛毛神社祭礼用具	一括	明治～昭和
678	一力花	1点	平成
678	八刃	1点	平成
681	留袖	1式	昭和後期
681	帯	1点	昭和後期
693	いせわんたい風	1冊	昭和35年
693	関東大震災図	1枚	大正
693	作文　伊勢湾台風	1冊	昭和後期

697	軍服	1式	大正
697	支那事変上海戦蹟記念地図	1枚	昭和前期
697	支那事変戦闘経過要図	1枚	昭和前期
697	欧洲大戦大地図	1枚	昭和前期
697	非常時国防一覧東亜太平洋地図	1枚	昭和前期
697	太平洋時局地図	1枚	昭和前期
697	最詳戦局地図	1枚	昭和前期
697	日支事変明細地図	1枚	昭和前期
697	中支方面日支両軍態勢要図	1枚	昭和前期
697	(週報附録)大東亜共栄圏及び太平洋要図	1枚	昭和前期
697	名女商報国団記録	1冊	昭和16年
697	三菱女子挺身隊バッジ	1点	昭和前期
697	堀八郎関係資料	一括	昭和
701	野良着	6点	昭和後期
701	反物	1点	昭和後期
701	肌着	2点	昭和後期
712	風呂鍬	1点	明治～昭和前期
712	備中鍬	5点	明治～昭和前期
712	窓鍬	2点	明治～昭和前期
712	株抜き鍬	1点	明治～昭和前期
713	鎌	1点	明治～昭和前期
713	鋤簾	1点	明治～昭和前期
713	田掻車	2点	昭和
716	畚	1対2点	明治～昭和前期
750	鬼頭染物店資料	一括	大正～昭和
753	木綿糸	43点	明治～昭和
756	反物 (結び糸・白生地)	1点	昭和後期
758	足袋	1点	明治～昭和
760	職人道具資料館旧蔵資料	一括	昭和
762	三味線製造道具	一括	明治～昭和
770	八千久関係資料	一括	大正～昭和後期
774	計算機	1点	昭和後期
776	看板	1点	江戸後期～近代
781	状箱	1点	江戸後期
782	停留所一覧図(東京市)	1枚	近代
783	名古屋付近交通地図	1枚	大正

783	東京都市計画区域交通系統図	1 枚	大正
783	市営自動車運転系統図（東京市）	1 枚	近代
786	内海フォレストパーク開園記念乗車券付切手帳	2 枚	昭和 57 年発行

792	皇太子殿下御成婚記念金貨（五万円）	1 枚	平成
795	預金表	1 枚	大正

Ⅱ　購入資料一覧　（基金から移管）

分類	資　料　名	点数	時　　代
550	御鍬祭真景図略　一・二	2 冊	江戸後期

Ⅲ　指定・認定文化財一覧(館蔵資料)

【国指定重要文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	絵	秋草鶉図屏風	1 双	江戸時代
2	工芸	魚波文瓶子	1 口	鎌倉時代　瀬戸灰釉
3	書	三宝絵	1 帖	平安時代　源為憲撰　保安元年(1120)書写奥書
4	工芸	太刀　銘「国泰」	1 口	鎌倉時代　肥後国延寿派国泰作
5	工芸	太刀　銘「行平作」	1 口	鎌倉時代　豊後国行平作
6	工芸	太刀　銘「雲生」	1 口	鎌倉時代　備前国宇甘派雲生作
7	工芸	黒楽茶碗「時雨」	1 口	江戸時代　本阿弥光悦作

【国認定重要美術品】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	袈裟襷文銅鐸	1 基	弥生時代　伝滋賀県出土
2	工芸	三角縁神獣鏡	1 面	古墳時代前期　奈良県都祁村白石光伝寺裏山古墳出土
3	書	広義門院所領処分状	1 幅	南北朝時代　貞和 5 年(1349)9 月 15 日付　光厳上皇筆
4	工芸	阿弥陀三尊懸仏	1 面	室町時代
5	絵	畳泉密竹図	1 幅	江戸時代後期　山本梅逸筆
6	書	千載和歌集断簡	1 幅	平安時代後期　日野切
7	考古	瓦製光背片	1 点	平安時代後期　三重県伊勢市小町経塚出土
8	工芸	太刀　銘「備前国住雲次」	1 口	鎌倉時代　備前国宇甘派雲次作
9	工芸	太刀　銘「景安」	1 口	鎌倉時代　備前国景安作
10	工芸	太刀　折返銘「吉綱」	1 口	鎌倉時代　備前国吉綱作
11	工芸	刀　無銘	1 口	鎌倉時代　伝包永
12	工芸	刀　無銘	1 口	南北朝時代　　伝左
13	工芸	壺形土器　蓋有	2 点	弥生時代前期　名古屋市北区西志賀町遺跡出土
14	工芸	鳥形鈕蓋付高脚坩	1 口	古墳時代後期　伝名古屋市瑞穂区師長町出土

【愛知県指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	魚波文四耳壺	1 口	鎌倉時代後期　瀬戸灰釉　岐阜県出土

2	絵	四季花鳥図屏風	1双	江戸時代後期　山本梅逸筆
3	考古	短甲	1領	古墳時代後期　伝岡崎市出土　25点付属
4	考古	三角縁神獣鏡・六神鏡	2面	古墳時代前期　東海市兜山古墳出土
5	考古	壺	1口	弥生時代中期　岩倉市大地遺跡出土
6	考古	壺	1口	弥生時代前期　丹羽郡大口町西浦遺跡出土
7	絵	相応寺旧蔵襖絵	12面	江戸時代初期
8	絵	築城図屏風	1隻	安土桃山時代
9	絵	楽々園四季真景図巻	1巻	江戸時代後期　宋紫岡筆
10	絵	山水図押絵貼屏風	1双	江戸時代後期　中林竹洞筆
11	歴史	尾張藩領産物帳	20冊	江戸時代中期
12	工芸	三尊来迎繍仏	1幅	南北朝時代　弘浄寺伝来

【名古屋市指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	有形民俗文化財	荒子西の畑屋敷馬道具	1式	江戸時代後期～昭和前期
2	有形民俗文化財	荒子西屋敷馬標及馬道具	1式	明治～昭和前期
3	歴史	横井也有関係資料	128点	江戸時代
4	工芸	裁断橋擬宝珠	4基	江戸時代前期
5	考古	大須二子山古墳出土品	16点	古墳時代
6	有形民俗文化財	高橋家伝来医薬器具	一括	江戸時代中期～末期
7	絵	徳川宗春戯画賛	1幅	江戸時代中期
8	絵	伊勢参宮図屏風	1隻	江戸時代前期

Ⅳ　指定・認定文化財一覧(受託資料)

【国宝】

	種別	資料名	数量	時代など
1	書	古事記	3帖	南北朝時代　宝生院所蔵
2	書	漢書食貨志第四	1巻	奈良時代　宝生院所蔵
3	書	琱玉集	2巻	奈良時代　宝生院所蔵

【国指定重要文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	絵	過去現在絵因果経	1巻	平安時代　聖徳寺所蔵
2	書	七寺一切経	100帖	平安時代　七寺所蔵
		唐櫃	1合	
3	絵	騎馬武者像	1幅	室町時代　地蔵院所蔵
4	書	無住道暁筆文書	3幅	鎌倉時代　六祖偈・置文・夢想記　長母寺所蔵
5	絵	四季山水図屏風	1双	室町時代　真宗大谷派名古屋別院所蔵
6	書	樵隠悟逸墨蹟	1幅	中国元時代　友山士思宛
7	書	寸松庵色紙	3点	平安時代
8	考古	袈裟襷文銅鐸	1基	弥生時代　福井県坂井市春江町井向出土
9	絵	千手観音二十八部衆像	1幅	鎌倉時代　護国院所蔵
10	絵	聖宝像	1幅	南北朝時代　林昌院所蔵
11	工	短刀　銘了戒	1口	鎌倉時代　了戒作
12	絵	二河白道図	1幅	鎌倉時代　蓮光寺所蔵
13	彫刻	地蔵菩薩立像　像内納入品	一括	鎌倉時代　西光寺所蔵

【国認定重要美術品】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	細形銅剣	1口	弥生時代　名古屋市守山区上志段味上島出土
2	工芸	七鈴鏡	1面	古墳時代後期　名古屋市守山区羽根古墳出土

3	工芸	経塚関係資料	8点	平安時代後期　大御堂寺所蔵
4	工芸	太刀　無銘　附拵	1口	伝来国光
5	工芸	魚形土器	1点	弥生時代後期　名古屋市南区桜田貝塚出土
6	工芸	インス茶碗	1口	江戸時代前期

【愛知県指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	絵	織田又六画像	1幅	安土桃山時代　善光寺別院願王寺所蔵
2	考古	壺	1口	弥生時代　北名古屋市伝馬塚出土
3	絵	花鳥図	双幅	中国画　明眼院所蔵
4	絵	花鳥図	1幅	中国画　明眼院所蔵
5	絵	風神雷神図	双幅	江戸時代　狩野常信筆　明眼院所蔵
6	絵	円窓山水図屏風	1隻	江戸時代　明眼院所蔵
7	工芸	糸枠蒔絵茶箱	1合	江戸時代　明眼院所蔵
8	工芸	茶壺	1口	中国製　14～16世紀　明眼院所蔵
9	工芸	金剛鈴杵	1口	明眼院所蔵
10	工芸	瀬戸鉄釉狛犬	1対	室町時代　伊勝八幡宮所蔵
11	絵	弁財天像	1幅	鎌倉時代　乾坤院所蔵
12	絵	諸尊集会図	1幅	鎌倉時代　乾坤院所蔵
13	書	正法眼蔵	15冊	室町時代　乾坤院所蔵
14	絵	田中訥言画蹟	3点	江戸時代後期　釈迦院所蔵　郭公の図他
15	書	『因明三十三過記』紙背文書	24通	鎌倉時代　宝生院所蔵
16	絵	円光大師画像	1幅	南北朝時代　祐福寺所蔵
17	絵	遣迎二尊画像	1幅	南北朝時代　祐福寺所蔵
18	工芸	古萩茶碗	1合	江戸時代　明眼院所蔵
19	彫刻	如来形立像	1躯	奈良時代　祐福寺所蔵
20	書	石山切	1幅	平安時代　貫之集下断簡
21	絵	渡辺崋山手録	3冊	江戸時代後期　渡辺崋山筆

【名古屋市指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	梵鐘	1口	江戸時代前期　水野太郎左衛門鋳造　性高院所蔵
2	絵	地蔵菩薩画像	1幅	南北朝時代　地蔵寺所蔵
3	工芸	瀬戸鉄釉狛犬	1個	室町時代　伊勝八幡宮所蔵

【他市町村指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	愛西市指定文化財	太刀　銘「従備前尾州来兼光…」	1口	江戸時代　安政3年(1856)　鵜多須区所蔵
2	清須市指定文化財	泰亨車山車関係資料	78点	清須市西枇杷島町東六軒町町内会所蔵
3	東郷町指定文化財	書留帳	3冊	江戸時代　祐福寺所蔵
4	東郷町指定文化財	祐福寺縁起	2巻	江戸時代　祐福寺所蔵
5	東郷町指定文化財	帝鑑の図	1隻	江戸時代　祐福寺所蔵
6	東郷町指定文化財	雲版	1口	室町時代　正長2年(1429)　祐福寺所蔵
7	清須市指定文化財	西枇杷島問屋町頼朝車関係資料	7点	問屋町町内会所蔵

分　館

Ⅰ　名古屋市蓬左文庫

1　閲　　覧

閲覧日数　297 日
閲覧室総利用者数　1,910 人
閲覧冊数　1,663 件(13,106)冊　(市内 673 人 県内 471 人 県外 519 人)
参考質問　382 件

2　展　　示

(1) 特別展

観覧料　一　般　1,400 円　　高大生　700 円
　　小中生　　500 円
　　徳川美術館との共通料金

ア 春季特別展「明治 150 年記念　華ひらく皇室文化」

会　　期　4 月 17 日～5 月 27 日(開室日数 37 日)
主　　催　名古屋市蓬左文庫　徳川美術館
　　CBC テレビ　中日新聞社
　　日本経済新聞社
入場者数　34,556 人
展示意図　　明治維新から数えて 150 年を記念して、幕末から明治維新、そして明治終焉へと、皇室の歴史とともに、宮廷を彩った調度類や染織品、美と技の粋を結集した帝室技芸員の作品を通して、華やかな宮廷文化を紹介した。5 月 21 日(月)には皇太子殿下が行啓された。
会　　場　蓬左文庫展示室　徳川美術館本館
展示件数　165 件
印 刷 物　図録 A4 判　ポスターB2 判・B3 判
　　チラシ A4 判

イ 秋季特別展「もじえもじ」「尾張藩邸物語」

会　　期　9 月 9 日～10 月 28 日(開室日数 43 日)
主　　催　名古屋市蓬左文庫　徳川美術館
　　中日新聞社
入場者数　31,376 人
展示意図　　「もじえもじ」では、絵画的要素の強い文字である葦手や、文字で描いた仏画・戯画などの文字絵、絵を文字のように用いて言葉をあらわす絵文字など、日本が世界に誇る知的な美の世界を紹介した。
　　「尾張藩邸物語」では、尾張徳川家の江戸や国許にある屋敷の図面や古写真、屋敷内で使用された道具を通して、失われた尾張藩邸の姿や、屋敷内での生活を探った。
会　　場　①徳川美術館本館　②蓬左文庫展示室
展示件数　①131 件、②88 件
印 刷 物　図録 A4 判　ポスターB2 判・B3 判
　　チラシ A4 判

(2) 企画展

観覧料　一　般　400 円（1,400 円）
　　（アは 1,200 円）
　　高大生　300 円（700 円）
　　小中生　200 円（500 円）
　　（ ）は徳川美術館との共通料金

ア①「タイムスリップ 1918　大正の名古屋　－米騒動絵巻に見る 100 年前のモダン都市－」
②「ユネスコ世界記憶遺産登録記念 朝鮮通信使と名古屋」

会　　期　6 月 1 日～7 月 16 日（開室日数 40 日）
主　　催　名古屋市蓬左文庫　徳川美術館
入場者数　22,047 人
展示意図　　①大正 7 年（1918）、全国の都市で米の安売りを求める大暴動（米騒動）が発生した。日本画家桜井清香が、名古屋の米騒動を生き生きと描いた「米騒動絵巻」を通して、100 年前の名古屋の街を紹介した。
　　②平成 29 年 10 月 31 日、「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコ記憶遺産

（世界の記憶）に登録された。記憶遺産に登録された蓬左文庫所蔵の 4 作品を中心に、名古屋に伝わる関係資料を紹介した。

展示件数　①64 件　②17 件

印 刷 物　ポスターB3 判　チラシ A4 判

イ「英雄たちの戦国合戦」

会　　期　7 月 21 日～9 月 2 日（開室日数 39 日）

主　　催　名古屋市蓬左文庫　徳川美術館
読売新聞社

入場者数　28,234 人

展示意図　戦国時代、あまたの英雄が命を懸けて戦場を駆け抜けた。戦乱の世の様子を、臨場感をもって今に伝える武将の書状や､彼らの所持した武具などから、戦国の英雄たちの姿と合戦の様子に迫った。

展示件数　75 件（蓬左文庫展示室のみ）

印 刷 物　ポスターB2 判・B3 判　チラシ A4 判

ウ「徳川慶勝の幕末維新」

会　　期　11 月 3 日～12 月 16 日(開室日数 38 日)

主　　催　名古屋市蓬左文庫　徳川美術館

入場者数　38,652 人

展示意図　尾張家 14 代徳川慶勝(1824～83)は、尾張徳川家の最後の殿様として激動の幕末・維新を生き抜いた。尾張藩政の舵取りを担った生涯を通じ、その知られざる決断と転換の時代を探るとともに、写真家大名とも呼ばれた慶勝が撮影した名古屋城の写真を公開した。

展示件数　107 件

印 刷 物　ポスターB3 判　チラシ A4 判

エ「書は語る－30 センチのエスプリー」

会　　期　1 月 4 日～2 月 3 日(開室日数 27 日)

主　　催　名古屋市蓬左文庫　徳川美術館
毎日新聞社

入場者数　10,979 人

展示意図　天皇や公家、武家をはじめ、松尾芭蕉や池大雅、さらに夏目漱石や正岡子規など近代文学を代表する文化人まで、彼らが懐紙や短冊に染筆した書を通じて､歴史上の人々の人物像を探訪。

展示件数　129 件

印 刷 物　ポスターB3 判　チラシ A4 判

オ「ひなを楽しむ －旧家のひな飾り－」

会　　期　2 月 9 日～4 月 7 日（開室日数 50 日）

主　　催　名古屋市蓬左文庫　徳川美術館
中日新聞社

入場者数　47,154 人

展示意図　江戸時代から昭和に至るまでの町屋で飾られた様々なお雛さまを展示し、大名家･尾張徳川家に伝えられた雛とは趣の異なる、素朴な中に身近で親しみを感じさせてくれる旧家の“桃の節供”を紹介した。

展示件数　30 件

印 刷 物　ポスターB2・B3 判　チラシ A3 判

3　蓬左文庫講座

(1) 6 月 14 日**「絵はがきに見る名古屋城」**
井上善博（調査研究員）　48 人

(2) 11 月 15 日**「西洋砲術と尾張藩」**
木村慎平（学芸員）108 人

会場　徳川園ガーデンホール

(3) 講演会

11 月 8 日「慶勝と茂徳の暗闘―文久～慶応期の尾張藩―」　168 人

講師　羽賀祥二氏（名古屋大学名誉教授）

会場　徳川園ガーデンホール

4　催事等

(1)主催事業

ア　蓬左文庫古書市

会期　11 月 3 日～11 月 11 日　1,637 人

会場　蓬左文庫講座室

主催　名古屋市蓬左文庫

協力　名古屋古書籍商業協同組合

(2)連携事業

ア「第 13 回桜二胡音楽会 2018」

会期　4 月 1 日　　2,600 人
会場　徳川園(蓬左文庫前広場)
主催　特定非営利活動法人チャン・ビン二胡演奏団
後援　徳川園　名古屋市蓬左文庫　徳川美術館

イ「徳川園山車揃え」

会期　6 月 3 日　　5,000 人
主催　徳川園　名古屋市蓬左文庫　徳川美術館
協力　東区役所

ウ「歩こう！文化のみち　スタンプラリー」

会期　11 月 3 日　黒門前のスタンプ数　500 人
主催　「歩こう！文化のみち」実行委員会、文化のみち推進会議（東区役所・蓬左文庫・徳川園などで構成）

エ「雛巡りスタンプラリー」

会期　平成 31 年 2 月 3 日～3 月 10 日
全会場の台紙配布数　10,824 人
会場　蓬左文庫エントランスホール他
主催　名古屋市蓬左文庫・徳川美術館・名古屋文化遺産活用実行委員会

5　団体見学等

愛知県立大学、愛知大学、中京大学、名古屋市立大学、名城大学、専門図書館協議会、名古屋歴史科学研究会はじめ　　11 件 155 人

6　出版物

「蓬左」No.96　A4 判　8 頁　4,000 部（無料）
「米騒動絵巻　描かれた大正の名古屋」
A4 判　32 頁 1,000 部（500 円）
「年間行事予定」　A4 判　　40,000 枚（無料）
「名古屋と明治維新」羽賀祥二+蓬左文庫編
風媒社刊　四六判　2,000 部(2,268 円)
名古屋叢書第 4 編 1「青窓紀聞　巻二～五」（文化 11 年～文政 5 年）　A4 判　400 部（2,000 円）

7　特別利用

利用件数	158 件 353 点
原板使用（掲載）	80 件 136 点
原板使用（その他）	53 件 179 点
熟覧	25 件 38 点
撮影	0 件 0 点

8　複　　写

467 件(45,707 枚)

9　資料点数

資料総点数	121,511点
(内訳)	
旧蓬左文庫資料	64,845点
江戸時代から名古屋市移管（昭和25年）までに収集された尾張徳川家旧蔵書	
名古屋市蓬左文庫収集資料	37,089点
名古屋市移管以降の収集資料	
平成30年度受贈資料	
石川了旧蔵書	231点
稿本米騒動絵巻はじめ桜井清香関係資料	13点
長友千代治旧蔵書	730点
堀田家文書	18,275点
名古屋市蓬左文庫受託資料	328点

10　資料の貸出

貸出期間	貸出先（会場）	貸出目的（展覧会名･会期）	おもな貸出資料
4月10日～6月8日	斎宮歴史博物館	王朝人が愛でた動物たち ～あなたはイヌ派？ネコ派？それとも？～ 4月21日～6月3日	つれづれ草　奈良絵本 はじめ5件6点
7月12日～10月12日	熊本県立美術館	細川ガラシャ 8月4日～9月24日	大田和泉守記 はじめ1件1点
10月30日～12月17日	徳川美術館	源氏物語の世界-王朝の恋物語-	河内本源氏物語

		11月3日～12月16日	はじめ12件301点
2月15日～6月10日	刈谷市歴史博物館	水野勝成～『鬼日向』のいくさとまちづくり 3月24日～5月19日	冬夏事記 はじめ1件1点
3月19日～6月30日	名古屋市博物館 （巡回開催会場 ：仙台市博物館）	いつだって猫展 4月19日～6月9日	耳袋 はじめ2件2点
合計	貸出先件数 6件		貸出資料件点数 32件311点

11　指定文化財一覧（所蔵資料）

【国指定重要文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	書	続日本紀	30巻 付10巻	鎌倉時代　金沢文庫旧蔵　駿河御譲本
2	書	侍中群要	10巻	鎌倉時代　嘉元4年（1306）北条貞顕筆 金沢文庫旧蔵　駿河御譲本
3	書	斉民要術	22巻	鎌倉時代 文永11年（1274）北条実時奥書 金沢文庫旧蔵　駿河御譲本
4	書	源氏物語（河内本） 付 近衛信尹筆者極 古筆了佐筆者目録	23冊 付2巻	鎌倉時代　正嘉2年（1258）奥書 金沢文庫旧蔵
5	書	論語集解	10冊	鎌倉時代　元応2年（1320）奥書
6	書	宋版太平聖恵方	24冊 付29冊	中国宋時代（13世紀）刊 金沢文庫旧蔵　駿河御譲本
7	書	朝鮮版高麗史節要（銅活字本）	35冊	李氏朝鮮　景泰4年（1453）刊

【登録有形文化財(建造物)】

蓬左文庫旧書庫　平成 26 年(2014)、黒門・脇長屋など、徳川園内の建造物とともに登録有形文化財(建造物)に登録された。旧書庫は、明治 33 年(1900)に建築された旧尾張徳川家大曽根邸の土蔵を、昭和 10 年(1935)に移転改築したもので、現在は蓬左文庫エントランスとして使用している。

【ユネスコ世界記憶遺産（世界の記憶）】

朝鮮通信使に関する記録　平成 29 年（2017）10 月、日韓合計 111 件 333 点（日本 48 件 209 点、韓国 63 件 124 点）の「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコの「世界記憶遺産（世界の記憶）」に登録された。この中には蓬左文庫が所蔵する下記資料が含まれている。

朝鮮国三使口占聯句	1 枚	江戸時代・天和 2 年（1682）
甲申韓人来聘記事	1 冊	江戸時代・明和元年（1764）
朝鮮人御饗応七五三膳部之図	1 冊	江戸時代・文化 8 年（1811）
朝鮮人物旗仗轎輿之図	1 巻	江戸時代・19 世紀

Ⅱ　名古屋市秀吉清正記念館

1　展　示

(1)　常設展

豊臣秀吉・加藤清正に焦点をあて、あわせて彼らの生きた時代を概説している。館蔵資料を中心とし、映像機器も併用している。

開室日数　292 日
観 覧 料　無料
観覧者数　24,312 人

(2) 特別陳列　「秀吉清正記念館名品展」

会　　期　10 月 10 日～12 月 2 日
（開室日数 45 日）
観 覧 料　無料
観覧者数　3,848 人
展示意図　伝秀吉所用の甲冑、清正が退治したと伝えられる虎の骨など、館蔵の名品を一挙に公開した。あわせて常設展を一新した。
展示件数　71 件
印 刷 物　写真入り目録 A4 判
チラシ　　A4 判
ポスター　　A2 判

(3) 特集展示など

特別展示室の活用を図るとともに常設展示を補完するため、以下の展示を行った。観覧料無料。

①特集展示「秀吉の家臣たち」

会　　期　3月17日～5月6日（開室日数43日）
観覧者数　2,099 人（4 月 1 日以降）
※　3,365 人（全会期入場者）
展示意図　陣立書や家臣宛の朱印状などの館蔵資料を通し、家臣団の観点から秀吉の天下統一を考察した。

②パネル展「武将たちの眠る場所」

会　　期　5 月 15 日～7 月 16 日
（開室日数47 日　6月30 日～7月6 日は臨時休館）
観覧者数　4,430 人
展示意図　戦国における武将の死は、合戦の勝敗そのものである。墓から見た戦国を写真パネルで紹介した。

③特集展示「戦争と城」

会　　期　7 月 21 日～9 月 24 日（開室日数 55 日）
観覧者数　4,688 人
展示意図　江戸期の城の大半は、明治維新直後人為的に破壊され、わずかに残った建物も第二次世界大戦時によって消滅した。失われた城のかつての勇姿を最新のデータを含め紹介した。

④パネル展「清正と城」

会　　期　12 月 11 日～2 月 17 日（開室日数 54 日）
観覧者数　4,446 人
展示意図　清正は築城の名手とされ、熊本城や名古屋城が広く知られている。しかし清正が築いた城は非常に多く、また各地に屋敷を構え、熊本では大規模な治水事業を行った。清正の普請を広く紹介した。

⑤パネル展「秀吉と城」

会　　期　2 月 19 日～4 月 21 日（開室日数 52 日）
観覧者数　3,119 人（3 月 31 日まで）
※　4,670 人（全会期入場者）
展示意図　秀吉は、巨城の造営と並行して多くの合戦を行い、膨大な数の砦や城を築いた。その遺構は今、険しい山中や川の底､あるいは線路脇や住宅地にある。本展では、それら無数の秀吉の城のうち、とくに前半生の城を紹介した。

2　教育普及

(1) 夏休み事業

①「ひできよ　夏の陣」

兜の試着や火縄銃にふれる体験を行った。
8 月 11 日　174 人

②「夏休み自由研究　戦国武将にクイズで挑戦」

展示資料をとおし戦国時代の歴史が学べるよ

う、小中学生を対象にクイズ問題を配布した。

7月21日～9月2日　　532人

(2) 連携事業

中村公園歴史ウォーク＋（中村図書館・中村文化小劇場との合同事業）　11月23日　15人

3　特別利用

利用件数　　46件

利用資料数

原板使用（掲載）　49件　49点

原板使用（その他）　6件　6点

4　資料の貸出

貸出期間	貸出先（会場）	貸出目的（展覧会名・会期）	主な貸出資料
5月8日 ～7月22日	岡山県立博物館	「サムライアーマー甲冑－岡山ゆかりの名品と変わり兜」　5月25日～7月8日	織田信長朱印状長烏帽子形兜（模造）　1件1点
	資料貸出先　1件		貸出資料件点数　1件1点

5　資料収集状況

総合計（平成31.3.31現在）						
	受贈		購入		計	
	件	点	件	点	件	点
絵画	32	40	79	120	111	160
工芸	26	26	24	26	50	52
文書典籍	97	330	67	254	164	584
その他	12	27	3	3	15	30
計	167	423	173	403	340	826

6　指定文化財一覧（館蔵資料）

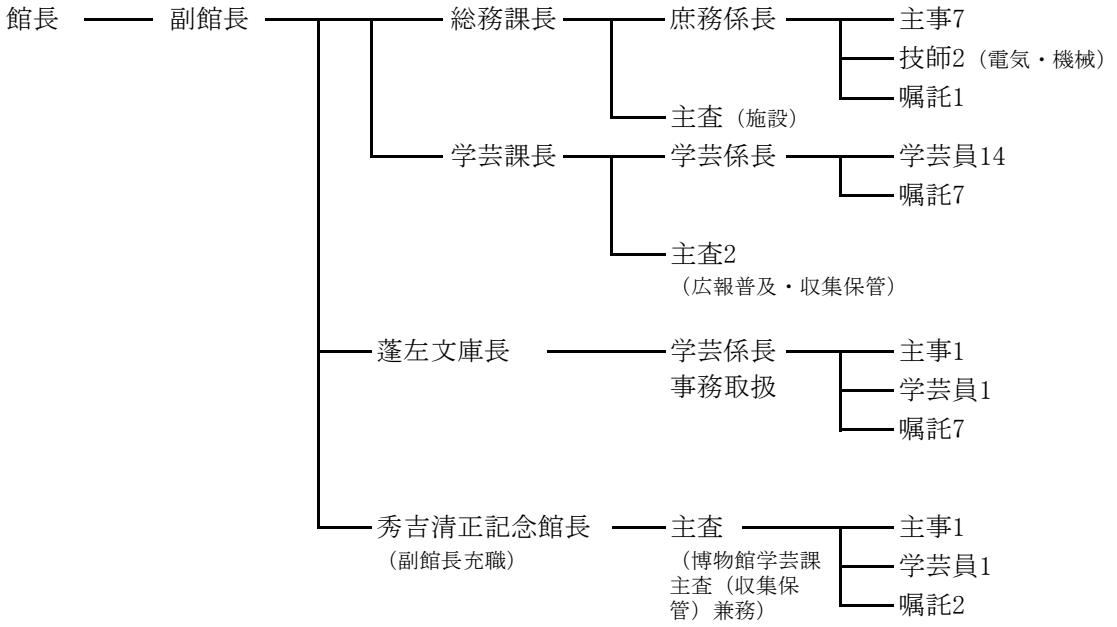
【名古屋市指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	歴史	兼松家資料	40点	室町時代後期～江戸時代中期
2	歴史	近江木下家資料	39点	安土時代～江戸時代後期

機　　構

（平成31年3月31日現在）

○組織



○博物館職員

館長	三芳　研二	
副館長	神谷　浩	
総務課長	加藤　久	
庶務係長	松永　一則	
主査(施設)	梅村　尚生	(～30. 7.31)
	今井　裕紀	(30. 8. 1～)
主　事	安原　百合子	
	若松　正人	
	金岡　友香	
	稲垣　ゆみ子	
	鬼頭　孝行	
	戸田　真梨子	
	飯田　聡	
技　師	伊神　敏弘	
	倉橋　和也	
嘱　託	畔柳　静香	
学芸課長	瀬川　貴文	
学芸係長	武藤　真	
主査(広報普及)	竹内　智哉	
主査(収集保管)	山田　伸彦	

学芸員	塚原　明子
	加藤　和俊
	岡村　弘子
	藤井　康隆
	長谷川　洋一
	津田　卓子
	佐野　尚子
	星子　桃子
	横尾　拓真
	鈴木　雅
	酒井　康平
	羽柴　亜弥
	藤田　紗樹
	西澤　光希
嘱　託	竹内　弘明
	山本　祐子
	中村　隆之
	桐原　千文
	川合　剛
	森永　耕一
	杉浦　秀昭　(30. 5. 1～)

〇蓬左文庫職員

文庫長	鳥居　和之
学芸係長事務取扱	鳥居　和之
主　事	髙木　拓治
学芸員	木村　慎平
嘱　託	井上　善博
	山本　泰雄
	岡島　祥子
	蘆澤　耕二
	末松　美咲
	堀内　亮介
	和佐田　岳男

〇秀吉清正記念館職員

館長（博物館副館長充職）	
	神谷　浩
主査（博物館学芸課主査（収集保管）兼務）	
	山田　伸彦
主　事	近藤　良江
学芸員	朝日　美砂子
嘱　託	林　　典子
	佐々木　昭久

〇名古屋市博物館協議会委員（◎会長）順不同

名古屋市立星ケ丘小学校長	上田　資子
学校法人菊武学園理事長	高木　弘恵
名古屋市地域女性団体連絡協議会理事	青山　淑子
徳川美術館長	徳川　義崇
熱田神宮宝物館長	大原　和生
名古屋市立小中学校ＰＴＡ協議会理事	荒川　奈央子（～30.6.4）
	友松　知美（30.6.5～）
公募委員	庄司　かよみ（30.6.13～）
日本放送協会名古屋放送局長	中野谷　公一（～30.7.20）
	島田　敏男（30.7.21～）
中日新聞社名古屋本社事業局長	加藤　宏幸（～31.2.8）
	澤田　敬介（31.2.9～）
名古屋造形大学教授	池田　洋子
名古屋商工会議所文化・観光委員会副委員長	滝　　茂夫
愛知県立大学教授	丸山　裕美子
東朋テクノロジー㈱取締役社長	富田　英之
◎名古屋市博物館資料委員	羽賀　祥二

〇名古屋市博物館資料委員　順不同

考　古

名古屋大学文学部・大学院文学研究科教授	山本　直人
愛知淑徳大学非常勤講師	赤羽　一郎

美術工芸

愛知県銃砲刀剣類登録審査委員	加藤　博司
立命館大学衣笠綜合研究機構客員研究員	源城　政好
桑名市博物館歴史専門官	大塚由良美
掛川市ステンドグラス美術館長	日比野　秀男

文書・典籍

名古屋大学文学部・大学院文学研究科名誉教授	羽賀　祥二
名古屋大学文学部・大学院文学研究科教授	塩村　　耕

民　俗

日本民俗学会会員	伊藤　良吉
愛知教育大学教育学部教授	野地　恒有

名古屋市博物館協議会開催状況

日　　時	場　　所	議　　題
第82回定例会 平成30年8月9日	名古屋市博物館 第１会議室	・前回の博物館協議会委員からの意見等について ・平成29年度事業報告・決算見込みについて ・平成30年度事業中間報告について
第83回定例会 平成31年3月22日	名古屋市博物館 第１会議室	・前回の博物館協議会委員からの意見等について ・平成30年度中間事業報告について ・平成31年度事業計画（案）について ・平成31年度予算について

予　算

○名古屋市博物館

（単位：千円）

展観事業費		普及費		資料費		管理費	
常設展運営費	6,157	教育普及費	2,569	調査研究費	1,552	事務・施設管理費	168,535
企画展等	4,442	その他	187	資料購入費	0		
共催展費	76,945			文化財修復・保存	700		
				その他	4,577		
	87,544		2,756		6,829		168,535
						合計	265,664

○分　館

蓬左文庫		秀吉清正記念館	
展観事業費	管理費	展観事業費	管理費
61,181	49,969	861	11,676

総　　計 （本館・分館総合計）
389,351

3　月別入場者数

1　企画展・共催展

（単位：人）

	有料											無料											計
	個人				団体				身体障害者手帳等			個人			身体障害者手帳等				招待券等	団体			
	一般	高齢者	高大生	小中生	一般	高齢者	高大生	小中生	一般	高大生	小中生	一般	高大生	小中生	一般	高大生	小中生	介護者		一般	高大生	小中生	
Ⅰ	1,525	393	136				48						366	266	176		6	107	1,685			44	4,752
Ⅱ	4,311		265		51		25		349	3		17	189	1,202					4,647				11,059
Ⅲ	32,907		957	2,687	257			21	2,414	23	104	51	824						10,207				50,452
Ⅳ	4,721		129	125	26		22		449	4	12	16	171						4,923				10,598
Ⅴ	22,012		890	1,048	111				1,423	25	42	41	377						7,593				33,562
計	65,476	393	2,377	3,860	445		95	21	4,635	55	158	125	1,927	1,468	176	0	6	107	29,055	0	0	44	110,423
Ⅴ´	26,885		1,059	1,356	111				1,724	30	52	53	502						10,353				42,125

		開始	終期	日数
Ⅰ	企画展「博物館イキ！」	4/28	6/10	37
Ⅱ	特別展「海たび」	7/14	9/17	56
Ⅲ	特別展「古代アンデス文明展」	10/6	12/2	48
Ⅳ	特別展「画僧　月僊」	12/15	1/27	32
Ⅴ	特別展「挑む浮世絵　国芳から芳年へ」(30年度のみ)	2/23	3/31	30
Ⅴ´	特別展「挑む浮世絵　国芳から芳年へ」(会期通算)※参考	2/23	4/7	36

2　常 設 展

（単位：人）

月	有料						無料										団体件数	計
	個人			団体			個人			身体障害者手帳等			招待券等	団体				
	一般	高齢者	高大生	一般	高齢者	高大生	一般	高大生	小中生	一般	高大生	介護者		一般	高大生	小中生		
4	540	156	34	0	0	0	11	85	148	54	2	35	40	4	0	37	0	1,146
5	891	228	143	0	0	0	11	127	172	88	1	66	245	5	0	78	3	2,055
6	630	177	71	0	0	0	14	184	158	89	0	62	265	29	0	587	9	2,266
7	984	103	100	0	0	0	64	96	304	50	5	32	223	0	6	6	1	1,973
8	1,636	152	243	0	0	0	111	68	647	74	3	51	535	0	1	6	0	3,527
9	1,298	384	119	200	0	0	114	39	247	93	0	73	703	36	0	147	3	3,453
10	2,643	203	115	0	0	0	800	158	484	49	0	23	426	11	0	48	1	4,960
11	3,666	126	229	36	30	0	225	145	737	43	0	28	965	2	0	93	4	6,325
12	1,216	32	96	0	0	0	424	39	320	36	0	20	487	8	0	27	0	2,705
1	1,632	64	77	0	0	0	271	175	588	69	1	62	951	412	0	8,715	112	13,017
2	919	111	34	0	36	0	710	56	736	112	1	100	64	454	0	8,094	117	11,427
3	3,248	80	141	0	0	30	185	62	555	64	3	39	1,063	2	0	46	1	5,518
計	19,303	1,816	1,402	236	66	30	2,940	1,234	5,096	821	16	591	5,967	963	7	17,884	251	58,372

3　月別入場者数

(1) 本　館

（単位：人）

月	開館日数	常設展	ビデオコーナー	触れてみるコーナー	収蔵品展	特別展企画展	共催展	ギャラリー	講　堂	展示説明室	くらし体験学習室	ナイトミュージアム	むかしのおもちゃで遊ぼう	合　計	累　計
4	25	1,146	110	322	0	439	0	7,934	0	303	0	0	0	10,254	10,254
5	25	2,055	201	644	0	2,756	0	18,351	270	50	0	0	0	24,327	34,581
6	25	2,266	162	533	0	1,557	0	15,212	518	124	0	0	0	20,372	54,953
7	25	1,973	274	552	0	0	2,487	9,584	602	220	0	0	572	16,264	71,217
8	27	3,527	454	865	0	0	4,673	11,011	563	183	0	851	1,909	24,036	95,253
9	25	3,453	332	733	0	0	3,899	8,214	95	28	0	0	162	16,916	112,169
10	25	4,960	385	1,005	0	0	17,321	20,540	931	129	0	0	0	45,271	157,440
11	25	6,325	471	1,920	0	0	28,475	43,757	966	297	0	0	0	82,211	239,651
12	18	2,705	185	646	0	0	7,299	6,489	460	146	0	0	0	17,930	257,581
1	23	13,017	172	938	0	0	7,955	2,509	469	117	10,322	0	0	35,499	293,080
2	23	11,427	95	654	0	0	3,994	10,214	515	132	11,159	0	0	38,190	331,270
3	26	5,518	351	1,354	0	0	29,568	9,088	698	345	446	0	0	47,368	378,638
計	292	58,372	3,192	10,166	0	4,752	105,671	162,903	6,087	2,074	21,927	851	2,643	378,638	

(2) 蓬左文庫

（単位：　人）

月	展示室開室日数（日）	展示室総入館者数	有料区域分		閲覧室開室日数（日）	ｴﾝﾄﾗﾝｽ総入館者数	無料区域部分		計	累　計
			展　示　室				閲覧室	エントランスホールのみ		
			共通券	単独券						
4	20	16, 306	16, 303	3	26	1, 956	150	1, 806	18, 262	18, 262
5	24	24, 648	24, 648	0	26	1, 955	180	1, 775	26, 603	44, 865
6	26	14, 079	13, 998	81	26	1, 890	189	1, 701	15, 969	60, 834
7	23	13, 469	13, 374	95	26	1, 481	155	1, 326	14, 950	75, 784
8	28	20, 215	20, 198	17	27	1, 213	144	1, 069	21, 428	97, 212
9	21	13, 605	13, 602	3	25	1, 427	154	1, 273	15, 032	112, 244
10	24	20, 289	20, 289	0	26	1, 703	183	1, 520	21, 992	134, 236
11	24	27, 328	27, 253	75	26	2, 123	202	1, 921	29, 451	163, 687
12	14	11, 324	11, 303	21	14	830	108	722	12, 154	175, 841
1	24	9, 276	9, 250	26	24	1, 084	149	935	10, 360	186, 201
2	20	16, 500	16, 476	24	24	1, 758	126	1, 632	18, 258	204, 459
3	27	25, 745	25, 734	11	27	1, 983	170	1, 813	27, 728	232, 187
計	275	212, 784	212, 428	356	297	19, 403	1, 910	17, 493	232, 187	

(3) 秀吉清正記念館

3　月別入場者数

（単位：人）

月	開館日数(日)	入場者数	累　計	備　　考
4	25	1,633	1,633	
5	25	1,765	3,398	
6	25	2,797	6,195	
7	20	1,659	7,854	
8	26	2,572	10,426	
9	25	3,306	13,732	特別陳列-18日 （入場者1,671人）
10	25	4,196	17,928	特別陳列-25日 （入場者2,010人）
11	25	2,177	20,105	特別陳列-2日 （入場者167人）
12	24	1,523	21,628	
1	23	1,947	23,575	
2	23	2,229	25,804	
3	26	2,356	28,160	
計	292	28,160		

＊　臨時休館　平成30年6月30日～平成30年7月6日

4　ギャラリー・講堂利用日数

室名／月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ギャラリー	1	25	25	23	25	21	24	25	24	15	5	17	20	249
	2	19	19	23	12	21	17	19	18	15	8	18	12	201
	3	19	25	23	18	21	19	19	18	15	8	20	15	220
	4	25	25	23	25	22	18	25	24	15	8	20	20	250
	5	25	25	23	25	16	24	25	24	15	17	17	20	256
	6	25	25	23	18	17	5	25	24	15	10	17	20	224
	7	0	25	23	9	22	12	18	24	2	22	23	9	189
	8	25	19	23	25	21	20	25	24	15	5	17	20	239
	屋外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
講堂		0	1.5	3.5	5	3	1	3.5	11.5	2	3.5	2	3	39.5
開室日数		25	25	23	25	25	26	25	24	15	22	22	26	283

5 年度別入場者数

3　月別入場者数

（単位：人）

年度	常設展	資料学習室	ふれてみる学習室	部門展	特別展企画展	共催展	ギャラリー	講堂					計	累計
52				184,694	17,099	203,569	48,302	4,195					457,859	
53	85,044			34,077	17,642	103,848	332,031	10,881					583,523	1,041,382
54	104,009			40,013	10,514	184,316	307,735	22,609					669,196	1,710,578
55	130,562	38,702		28,301	8,788	177,337	276,578	25,782					686,050	2,396,628
56	73,655	29,284	6,748	14,237	9,106	66,104	273,704	25,421					498,259	2,894,887
57	105,109	47,214	45,188	21,677	9,806	132,369	281,767	22,247					665,377	3,560,264
58	94,941	36,437	35,079	32,026	9,063	121,480	297,097	22,021					648,144	4,208,408
59	86,112	25,419	23,778	16,515	11,986	96,428	394,204	21,852					676,294	4,884,702
60	85,781	41,651	41,935	25,873	9,968	117,928	649,486	22,278					994,900	5,879,602
61	93,251	37,345	38,390	22,224	19,079	149,416	489,186	21,802					870,693	6,750,295
62	101,447	36,485	36,683	16,823	4,597	182,725	388,101	22,372					789,233	7,539,528
63	17,421	16,919	19,322	22,639	8,736	39,544	336,466	20,443					481,490	8,021,018
年度	常設展	ビデオミュージアム	ふれてみる学習室	収蔵品展等	特別展企画展	共催展	ギャラリー	講堂	展示説明室	くらし体験学習室	ナイトミュージアム	むかしのおもちゃで遊ぼう	計	累計
元	82,336	24,774	22,128	7,687	17,657	161,125	359,028	20,162					694,897	8,715,915
2	69,993	24,795	16,218	4,587	16,561	86,570	340,936	19,230					578,890	9,294,805
3	84,465	31,351	20,711	7,883	40,027	168,556	362,912	23,684					739,589	10,034,394
4	60,601	29,091	19,500	7,399	21,249	86,728	322,388	20,745					567,701	10,602,095
5	72,949	28,573	19,460	10,366	20,165	102,159	363,434	22,956					640,062	11,242,157
6	145,272	46,024	32,257	7,595	22,635	349,128	380,446	25,455					1,008,812	12,250,969
7	83,387	31,717	18,968	0	47,829	160,360	346,948	25,544					714,753	12,965,722
8	95,118	30,912	19,504	11,014	20,539	178,565	416,896	17,552					790,100	13,755,822
9	122,665	36,084	20,061	9,045	16,027	298,052	404,502	24,897					931,333	14,687,155
10	70,970	23,553	11,393	5,433	21,127	164,503	337,974	20,380					655,333	15,342,488
11	52,972	19,836	11,612	5,520	24,470	74,815	315,838	18,734					523,797	15,866,285
12	150,760	32,849	23,405	9,365	18,827	308,229	324,538	18,651					886,624	16,752,909
13	66,376	17,491	8,581	13,592	9,260	134,976	309,714	16,267					576,257	17,329,166
14	56,137	15,185	7,038	32,608	14,874	74,848	283,883	17,713					502,286	17,831,452
15	56,609	12,661	5,928	35,332	16,539	58,023	281,581	12,185					478,858	18,310,310
16	61,536	13,478	11,680	3,883	15,104	119,227	213,778	9,509					448,195	18,758,505
17	82,856	14,285	15,083	5,703	43,756	159,078	239,336	8,484					568,581	19,327,086
18	40,746	11,631	11,526	5,309	38,370	39,189	209,861	6,639					363,271	19,690,357
19	98,783	10,475	13,083	0	11,871	153,825	244,570	5,869					538,476	20,228,833
20	68,419	9,397	11,943	16,403	9,362	87,638	235,367	6,132	3,492				448,153	20,676,986
21	90,214	8,432	12,978	0	16,515	124,384	221,495	8,162	1,233				483,413	21,160,399
22	70,825	6,774	7,983	49,367	7,361	141,400	220,437	7,990	1,289				513,426	21,673,825
23	68,383	4,318	7,669	0	0	111,551	177,111	6,481	2,620	22,251			400,384	22,074,209
24	63,990	6,358	7,099	0	9,640	288,131	167,310	11,222	2,384	21,536	1,786	9,558	589,014	22,663,223
25	68,916	8,596	13,504	0	2,970	132,235	187,082	8,543	2,447	17,953	1,700	12,156	456,102	23,119,325
26	65,515	5,749	14,329	0	3,818	130,075	164,412	5,920	6,229	22,835	943	6,693	426,518	23,545,843
27	69,076	3,207	14,428	4,576	19,025	123,741	158,886	7,511	2,049	22,251	1,256	11,544	437,550	23,983,393
28	70,294	6,905	14,742	0	8,142	139,512	170,943	7,841	6,639	22,455	1,372	6,405	455,250	24,438,643
29	81,784	4,202	13,150	0	0	238,137	170,290	6,230	2,550	23,184	561	7,887	547,975	24,986,618
30	58,372	3,192	10,166	0	4,752	105,671	162,903	6,087	2,074	21,927	851	2,643	378,638	25,365,256
計	3,307,651	831,351	683,250	711,766	654,856	6,075,495	12,169,456	658,678	33,006	174,392	8,469	56,886	25,365,256	

※「ふれてみる学習室」は、平成16年度から「触れてみるコーナー」、「ビデオミュージアム」は平成22年から「ビデオコーナー」

※「収蔵品展等」の欄は、平成元年度から22年度については収蔵品展の、27年度については「東日本大震災復興と名古屋」展の入場者数。

出 版 物 案 内

（平成31年3月31日 現在）

出 版 物 名	刊行年	販売価格
博物館資料叢書3　猿猴庵の本		
（第2回配本） 画誌卯之花笠	2001 年	1,200 円
（第3回配本） 新卑姑射文庫	2002 年	1,200 円
（第4回配本） 絵本清洲川・続梵天錦	2002 年	1,200 円
（第5回配本） 新卑姑射文庫　二編	2002 年	1,200 円
（第6回配本） 新卑姑射文庫　三編	2003 年	1,200 円
（第7回配本） 北斎大画即書細図・女謡曲採要集	2004 年	1,200 円
（第8回配本） 御鍬祭真景図略　一	2004 年	1,200 円
（第9回配本） 御鍬祭真景図略　二	2005 年	1,200 円
（第10回配本） 笠寺出現宝塔絵詞伝	2005 年	1,200 円
（第11回配本） 東街便覧図略　巻二	2005 年	1,200 円
（第12回配本） 御船御行列之図・桜見与春之日置・絵本江崎之春	2006 年	1,200 円
（第13回配本） 泉涌寺霊宝拝見図・嵯峨霊仏開帳志	2006 年	1,200 円
（第14回配本） 絵本駱駝具誌	2007 年	1,200 円
（第15回配本） 御鍬祭真景図略　三	2008 年	1,200 円
（第16回配本） 萱津道場参詣記	2008 年	1,200 円
（第17回配本） 東街便覧図略　巻三	2010 年	1,200 円
（第18回配本） 絵本音聞山	2011 年	1,200 円
（第19回配本） 絵本上雲雀	2012 年	1,200 円
（第20回配本） 東街便覧図略　巻四	2014 年	1,200 円
（第21回配本） 張州勝藍開帳集	2015 年	1,200 円
（第22回配本） 東街便覧図略　巻五	2016 年	1,200 円
（第23回配本） 東街便覧図略　巻六	2017 年	1,200 円
（第24回配本） 東街便覧図略　巻七	2018 年	1,200 円
展覧会図録		
『特別展』 柳宗悦　生誕百年記念	1988 年	800 円
『特別展』 日本の物語絵	1988 年	800 円
『特別展』 日本の美と匠	1992 年	1,000 円
『特別展』 メトロポリタン美術館　浮世絵名品展	1995 年	1,000 円
（企画展） れきしどうぶつえん	1995 年	300 円
『特別展』 新博物館態勢	1995 年	500 円
『特別展』 妙法院と三十三間堂	1999 年	1,000 円
（企画展） 中林竹渓	1999 年	500 円
（企画展） おもしろやきもの展　ハンドブック	2000 年	400 円
『特別展』 北の民　アイヌの世界	2000 年	1,000 円
（企画展） 無病息災　－病を克服する知恵と祈り－	2001 年	700 円
（企画展） 名古屋城下のゴミ事情	2002 年	700 円
【常設展】「尾張の歴史」ガイドブック	2003 年	700 円
『特別展』 19世紀ウィーンへの旅	2003 年	2,500 円
（企画展） 富士見の里　昔の前津　－江戸から昭和－	2006 年	800 円
『特別展』 からくり　－見る、作る、遊ぶ－	2007 年	600 円
（企画展） 小栗鉄次郎　－戦火から国宝を守った男－	2009 年	700 円
『特別展』 妙心寺　－禅の心と美－	2009 年	2,000 円
『特別展』 名古屋400年のあゆみ	2010 年	1,500 円
『特別展』 変革のとき　桃山	2010 年	2,200 円
（企画展） 名古屋タイムズの見た名古屋	2010 年	200 円
『特別展』 古代メキシコ　オルメカ文明展	2011 年	2,000 円
『特別展』 狂言でござる	2011 年	1,300 円
『特別展』 芭蕉－広がる世界、深まる心－	2012 年	2,000 円
『特別展』 驚きの博物館コレクション	2013 年	1,000 円

出 版 物 名	刊行年	販売価格	
『特別展』 マジックの時間　公式ガイドブック	2013 年	500 円	
『特別展』 奥三河のくらしと花祭・田楽	2013 年	900 円	
『特別展』 三英傑と名古屋	2014 年	1,200 円	
『特別展』 感じる縄文時代	2014 年	600 円	
（企画展） 採録　名古屋の衣生活	2017 年	1,000 円	
『特別展』 北斎だるせん！	2017 年	2,200 円	
（企画展） 博物館イキ！	2018 年	900 円	
『特別展』 海たび	2018 年	1,500 円	
『特別展』 画僧　月僊	2018 年	2,000 円	最新刊
資料図版目録・館蔵品目録			
館蔵品図録Ⅰ	1982 年	1,000 円	
館蔵品図録Ⅱ	1987 年	1,000 円	
館蔵品百選	1997 年	1,000 円	
館蔵品目録　第2分冊	1997 年	1,200 円	
館蔵品目録　第4分冊	2000 年	800 円	
資料図版目録3 「尾張の俳諧」	2002 年	900 円	
資料図版目録4 「くらしのうつりかわり」	2003 年	600 円	
資料図版目録5 「愛知の縄文遺跡」	2004 年	1,000 円	
資料図版目録6 「尾崎久弥浮世絵コレクション　歌川国貞」	2005 年	900 円	
資料図版目録7 「大和古瓦図版目録」	2006 年	700 円	
資料図版目録9 「尾張のやきもの」	2013 年	700 円	
資料図版目録10 「横井庄一生活資料」	2015 年	700 円	
調査研究報告・博物館資料叢書			
博物館資料叢書1　三寶繪	1989 年	3,000 円	
調査研究報告Ⅲ　明治期博覧会出品七宝工総覧	1996 年	500 円	
調査研究報告Ⅴ　宝玉七宝	2000 年	800 円	
調査報告　重要文化財　甚目寺愛染明王坐像	2012 年	1,200 円	
名古屋城下お調べ帳（冊子、DVD、マップの3点セット）	2013 年	2,500 円	販売休止中
幕末 城下町名古屋復元マップ（上記のうち、マップのみ）	2013 年	500 円	
研究紀要			
名古屋市博物館研究紀要　第15巻	1992 年	300 円	
名古屋市博物館研究紀要　第16巻	1993 年	300 円	
名古屋市博物館研究紀要　第17巻	1994 年	300 円	
名古屋市博物館研究紀要　第21巻	1998 年	300 円	
名古屋市博物館研究紀要　第22巻	1999 年	300 円	
名古屋市博物館研究紀要　第24巻	2001 年	900 円	
名古屋市博物館研究紀要　第25巻	2002 年	700 円	
名古屋市博物館研究紀要　第26巻	2003 年	700 円	
名古屋市博物館研究紀要　第27巻	2004 年	600 円	
名古屋市博物館研究紀要　第29巻	2006 年	700 円	
名古屋市博物館研究紀要　第30巻	2007 年	900 円	
名古屋市博物館研究紀要　第31巻	2008 年	700 円	
名古屋市博物館研究紀要　第32巻	2009 年	600 円	
名古屋市博物館研究紀要　第33巻	2010 年	500 円	
名古屋市博物館研究紀要　第35巻	2012 年	500 円	
名古屋市博物館研究紀要　第36巻	2013 年	500 円	
名古屋市博物館研究紀要　第37巻	2014 年	500 円	
名古屋市博物館研究紀要　第38巻	2015 年	500 円	
名古屋市博物館研究紀要　第39巻	2016 年	500 円	
名古屋市博物館研究紀要　第40巻	2017 年	500 円	
名古屋市博物館研究紀要　第41巻	2018 年	500 円	

名古屋市博物館 年報　№42
（平成 30 年度）

発行日　令和元年 7 月 1 日

編　集
発　行　名古屋市博物館
名古屋市瑞穂区瑞穂通 1-27-1
TEL　052（853）2655
FAX　052（853）3636